

第2回 東京 2020 大会開催都市本部会議 次第

令和3年8月20日（金）11時00分から
都庁第一本庁舎7階特別会議室（庁議室）

○ 開会

○ 議事

1 新型コロナ対策専門家ラウンドテーブルについて

2 東京 2020 オリンピック競技大会の報告について

3 東京 2020 パラリンピック競技大会に向けて

（1）パラリンピック競技大会における学校連携観戦について

【生活文化局・教育庁】

（2）東京 2020 パラリンピック競技大会関連スケジュールについて

○ 意見交換

○ 開催都市本部長 発言

○ 閉会



TOKYO 2020

新型コロナ対策 専門家ラウンドテーブル 第5回

オリンピックの新型コロナウイルス感染対策の振り返り

1. コロナ対策の概要
2. 検査結果と各種振り返り
3. 人流

パラリンピックに向けて

2021年8月20日（金）



TOKYO 2020

オリンピックの新型コロナウイルス感染対策の 振り返り

1. コロナ対策の概要

プレイブックの作成

- 各ステークホルダーごとにプレイブックをV1からV3まで作成し、共有。



アスリート、チーム役員

IF

大会スタッフ



ブロードキャスター

プレス

オリンピックファミリー・パラリンピックファミリー

マーケティングパートナー



プレイブックの概要

【目的】

- 選手や関係者にとっての安全・安心な環境整備と、日本国民の安全・安心の両立

【具体的な方策】

- 選手や関係者にとっての安全・安心な環境整備
 - － 検査（入国前に2回検査、選手は原則毎日検査、他SHは選手との接触程度に応じ定期検査）
 - － コロナ対策責任者（CLO）の職責やトレーニング等を明確化
 - － 万が一、陽性となった場合の手順の明示 など
- 入国後14日以内の海外SHと日本在住者との接触を最小限とし、国民の安全・安心を確保
 - － 公共交通機関の原則不使用。移動は大会専用車両のみだが、大会専用車両が理解できない場合は、TCTサービスを利用。
 - － 自己手配宿泊施設の「宿泊ガイドライン」への適合。満たせない場合は、組織委手配ホテルへ変更。 など
- その他大会参加に当たっての具体的な条件を明確化
 - － 大会期（7/1以降）、大会参加者は、入国後3日間の検査結果が毎日陰性であること、かつ受入責任者によるより厳格な監督が行われることにより、入国初日から活動できることを明確化
 - － 入国に当たって求められる書面一式の明確化
 - － 本邦活動計画書のフォーマットや提出時期の明確化
 - － ルール違反に対する制裁措置を明確化
 - － 選手村や競技会場における具体的なコロナ対策の明示
 - － その他衛生基準の明確化（マスクの常時着用、食事の際のルール等） など

競技運営における新型コロナウイルス対策

1 アスリートが利用する場所の対策例

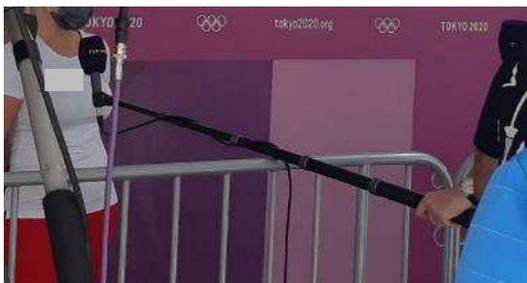
○FOP・練習場所

- ・定期的な消毒、換気の徹底
- ・練習場所の指定、時間の指定（NOCごと）
- ・マスク着用ルールの設定、周知



○ミックスゾーン

- ・フィジカル・ディスタンス確保



○アスリートダイニング

- ・飛沫防止板の設置
- ・配膳用スタッフの配置（アスリート自身での配膳不可）

2 濃厚接触者の対策例

- ・一般のアスリートと動線を分離
- ・アテンドする専従スタッフを用意
- ・隔離練習場所の用意



3 大会スタッフの対策例

- ・基本的な対策の励行



- ・アスリートとの接触頻度による検査の実施



選手村における新型コロナウイルス対策



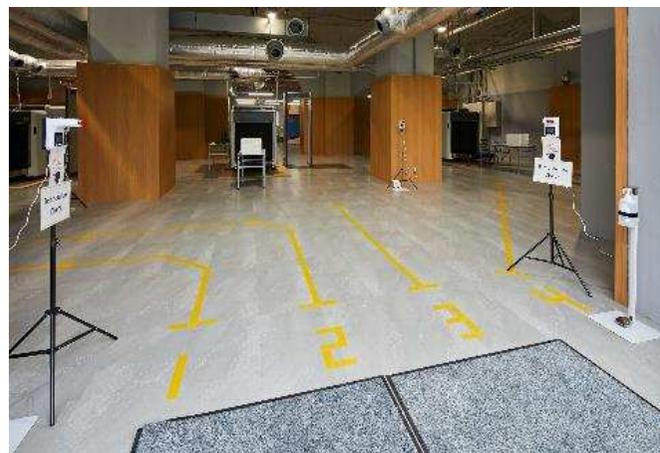
Main Dining Hall



Casual Dining



Casual Dining



PSA at Team Processing Centre



Doping Control Station



Fitness Centre

海外メディア関係者への感染対策について

【入国前】

- ◆ 活動計画書（用務先と移動手段等を記載）の事前提出
- ◆ 活動計画を遵守させる旨の誓約書（行動管理・健康管理）の提出※

【入国後】

- ◆ 受入責任者の責任（組織委員会）の下、各所属組織のCLO（コロナ対策責任者）が各人の行動管理を実施
- ◆ 入国後14日間ホテル待機
- ◆ 14日間待機に支障がある場合、3日間待機の後、受入責任者の監督の下、国内在住者との接触回避などを条件に、4日目以降の活動を認める
- ◆ 例外的に、厳格な監督（帯同やGPSによる行動管理）の下、入国後直ちに活動を認める

※誓約書違反のペナルティ
（行動に疑義がある場合はGPS等も活用）

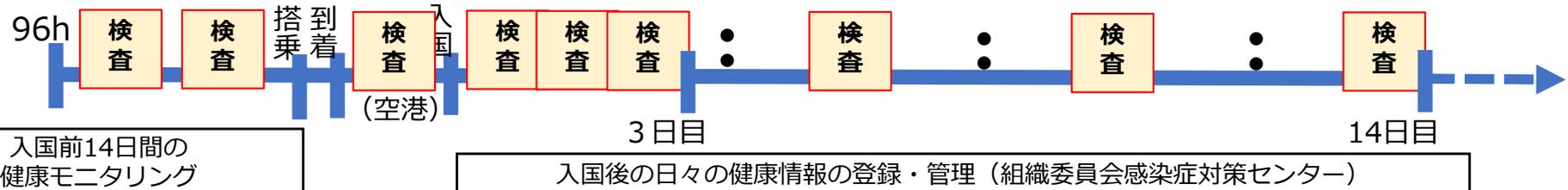
- ◆ ホテル待機措置（外出禁止）
- ◆ アクレディテーション停止・はく奪
- ◆ 国外退去強制手続

〈検査・ワクチン・健康管理〉

入国前のワクチン
接種を強く推奨

入国後は定期的な検査により早期発見・隔離

- アスリートと一定の接触の可能性のある者：原則毎日
- その他：入国後3日まで毎日+その後4～7日に1回



〈バブル方式〉

空港

専用バス
ハイヤー

ホテル

専用バス
ハイヤー

用務先

事前に活動計画書に登録
されたものに限定

- ※厳格な感染対策（責任者・監視員等配置）
- ※一般人への取材等は禁止
- ※移動は専用バス、ハイヤーなど
- ※エリア内に食事・買物スペースを確保

- 組織委員会調達・登録ホテル約150カ所に集約
- 組織委員会が監督者を常駐
- 原則、外出禁止とし、例外的に出る場合には、帯同やGPSによる行動管理
- 違反が確認されれば、アクレディテーションの停止・はく奪、退去強制手続等の措置を厳格に適用

IBC（国際放送センター）
MPC（メインプレスセンター）

組織委員会管理施設

競技会場・練習会場

選手村（指定エリア）

組織委員会に事前承認済の
取材スポット
（事前登録制）

2. 検査結果と各種振り返り

東京2020大会における新型コロナウイルス感染症対策の状況

➤ オリンピック大会のアスリート・大会関係者について、出国前2回の検査など水際対策の強化を図ったほか、日々の検査、毎日の健康管理の徹底等により陽性者数を抑制

1 空港検疫検査（7/1～8/8）

	検査数	陽性者数	検査数に占める陽性者数の割合
アスリート等・大会関係者 計	42,861件	37人	0.09%

*アスリート等・大会関係者の入国に際し、検疫で実施された検査の件数及び陽性者数
【参考】令和3年8月10日時点の空港海港検疫における陽性率：0.4%

2 スクリーニング検査（7/1～8/8）

	検査数	陽性者数	検査数に占める陽性者数の割合
アスリート等	289,893件	35人	0.01%
大会関係者	386,896件	128人	0.03%
計	676,789件	163人	0.02%

*アスリート等・大会関係者に対し、入国後の健康管理の一環として陰性を確認するための検査を定期的を実施
入国後3日間に加え、アスリートは原則毎日、大会関係者は役割に応じて定期的を実施

3 都内における訪日大会関係者の陽性者の状況

➤陽性者が発生した場合には、入院や宿泊療養施設等に迅速に隔離を図っている。

訪日大会関係者の直近の陽性者数

分類	陽性者数			(参考) 7/1~8/11
	8月9日	8月10日	8月11日	
アスリート	0人	0人	0人	27人
競技関係者	0人	5人	4人	78人
メディア	4人	0人	1人	27人
組織委員会職員、業務委託先事業者、大会ボランティア	0人	0人	1人	5人
計	4人	5人	6人	137人

※組織委員会公表資料における8月8日までの入国者の発症日ベース

<参考> 国内在住の大会関係者における直近の陽性者数

分類	陽性者数			(参考) 7/1~8/11
	8月9日	8月10日	8月11日	
アスリート	0人	0人	0人	0人
競技関係者	4人	0人	0人	33人
メディア	0人	0人	0人	1人
組織委員会職員、業務委託先事業者、大会ボランティア	1人	6人	6人	183人

※組織委員会公表資料における8月8日までの入国者の発症日ベース

4 都内における訪日大会関係者（陽性者）の療養状況

- 陽性者に占める入院者数は累計で3人、宿泊療養施設についても原則として組織委員会が確保した施設を活用するなど、都の医療・療養体制への負担を抑制

8月11日現在

	入院件数(累計)	宿泊療養施設等療養件数 (累計)
アスリート等・ 大会関係者 計	3人 (ピーク時2人)	132人 (ピーク時49人)

※他県1人 計4人

※都内医療機関は大会指定病院への入院

都内宿泊療養施設は、大会用宿泊施設を関係者の削減・集約により、組織委員会
が300室を準備。余剰の部屋は都民用としても活用

※大会前のアスリート等・大会関係者の見込み（ピーク時）

入院者数：8.5人、宿泊療養者数：44.6人 計 53.1人

海外からの入国者の陽性者数/陽性率

アスリート・大会関係者入国人数42,861人の検査結果は、

- 空港検疫検査（7/1～8/8）の陽性者数は、37人 0.09%
- スクリーニング検査（入国後14日以内）の陽性者は、66人 0.15%
- スクリーニング検査（入国後15日以降）の陽性者は、65人 0.15%

	空港検疫検査	スクリーニング検査 (入国後14日以内)	スクリーニング検査 (入国後15日以降)	計
陽性率	0.09%	0.15%	0.15%	0.39%
陽性者	37人	66人	65人	168人
アスリート・大会関係者 入国者人数	42,861人			

オリンピック・パラリンピック大会前の感染者数の試算の検証

大会関係の入国者の感染者数は想定範囲内であり、高いワクチン接種率、頻回検査、行動管理等により、大会前の各種試算より、感染の拡大・病床の利用等を大幅に抑制。

1. 実績（閉会式[8月8日]までの入国者における閉村日[8月11日]までの感染者数）

入国者数	感染者数	空港検査	入国後の検査	
			入国後検査（入国後14日以内）	
42,861人	168人（陽性率 0.39%）	37人（陽性率 0.09%）	131人（陽性率 0.31%）	66人（陽性率0.15%）

2. 新型コロナ対策専門家ラウンドテーブル（第3回 2021年6月11日開催）において示された試算の検証

試算	主な内容	実績（8月11日時点）	検証
オリンピック・パラリンピック大会時の水際における検査シミュレーション	入国者に占める感染者数は、 42.8人～586.8人 （陽性率 0.05%～0.63%）	入国者に占める感染者数は、 168人 （陽性率 0.39%）	感染者数は、想定範囲内。
	空港検査において、 39.3人～420.0人 が陽性 （陽性率 0.04%～0.45%） 入国後検査で、 12.9人～176.1人 が陽性 （陽性率 0.01%～0.19%）	空港検査において、 37人 が陽性 （陽性率 0.09%） 入国後検査で、 66人 が陽性 （陽性率 0.15%）	想定より空港検査の陽性が少ない。 →機内感染等の場合、空港検査では陰性で、その後の検査で陽性反応が出た可能性。
東京大学 藤井大輔氏・仲田泰祐氏による分析	入国後検査で陽性の人数を、 100人 と仮定	入国後検査での陽性は、 66人	感染者数は、本分析の仮定の範囲内。
	感染した大会関係者によって、東京で、1日当たり、新規感染者（二次感染） 約15人 、重症患者 約1人 が発生	大会関係者の入国後の感染は、1日当たり、新規感染者 4人 、重症患者 0人 入国者から市中への感染拡大は確認されていない	高いワクチン接種率、頻回検査、行動管理等により、本分析より、感染拡大を防止。

IOCによる独立専門家パネルのプレス説明 (8月7日実施)

Brian MCCLOSKEY, chair of the Independent Expert Panel (IEP)
IOCによる独立専門家パネル議長 ブライアン氏 プレス説明 コメント要旨

- 大会は安全に行われたと評価。ベーシックな衛生管理、検査体制、トラッキングが重要である。全ての措置を実施し、衛生対応と検査をパッケージとして実施。
- WHOは社会的距離、マスク着用、検査、濃厚接触者を追いかけていくことが必要だとしてきたが、東京大会はこの助言が正しいことを示した。
- 毎日の検査を行うことで、濃厚接触者を確定し、フォローアップした措置が奏功した。
- アスリートに近い人たちは毎日検査実施。接触が少ない関係者は4日に1度検査実施。国内外の関係者での感染の広がりは無かったと評価。今後、本国に戻った人たちについて、日本の当局含め、今後数週間フォローをしていく。
- オリンピックの実施が間接的に日本の感染者の増加につながったとの見解に対しては、そうした証拠はないと考えており、大会と日本人の感染の広がりについて関係性は証明されていない。
- ワクチンもコンビネーションの措置の一環。90%近くの選手がワクチンを接種していた。
- ギリシャ、チェコのチームで、感染が一部広がったケースがあるが、陽性は東京に着いてからではなく、空港で捕捉できずに持ち込まれたものと認識している。空港検疫が失敗したのではなく、ウィルスが十分に検査できるところまで増えておらず、その後に検知できるようになったと理解。

(参考) ギリシャ アーティスティックスイミングチームにおける複数の陽性者発生について

- 空港検疫での陽性者を発端として、12名の選手団のうち6名の陽性者が発生した。
- ③⑥は、①の機内濃厚接触から後に陽性になっている（入村前（機内）での感染ではないか）。

	7月28日	7月29日	7月30日	7月31日	8月1日	8月2日	8月3日	8月4日
①		検査陽性						
②						発症陽性		
③	①の機内濃厚						検査陽性	
④							検査陽性	
⑤							検査陽性	
⑥	①の機内濃厚							検査陽性

※入村後の感染者の濃厚接触者から陽性者は発生していない。

②の濃厚接触者：同寝室者 1名（陰性）

③の濃厚接触者：同寝室者 1名（陰性）

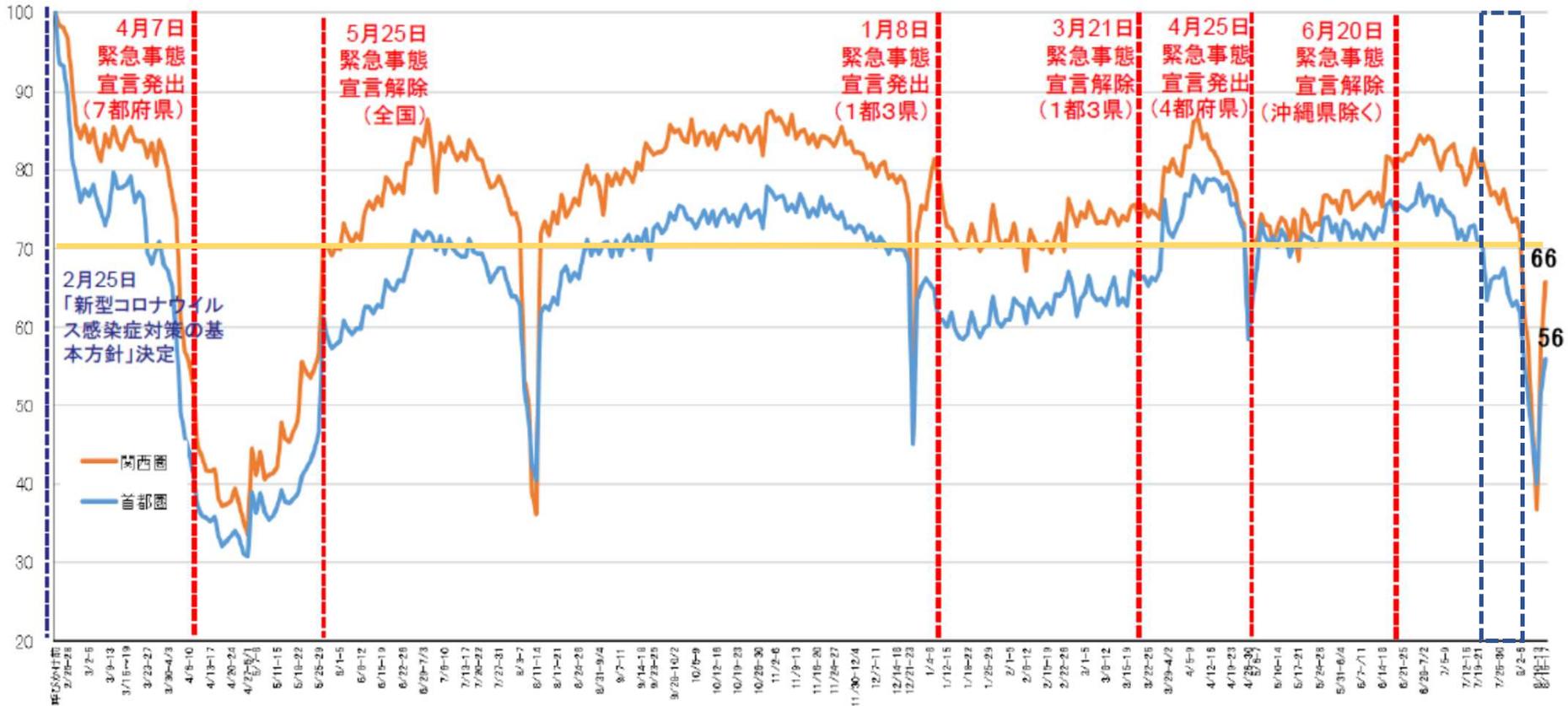
⑤の濃厚接触者：デュエット競技者 1名（陰性）

3. 人流

駅の利用状況(首都圏・関西圏:速報値)

テレワーク・時差出勤呼びかけ後のピーク時間帯の駅利用状況推移

オリンピック期間



※JR(JR東日本、JR西日本)、大手民鉄(東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神)の主なターミナル駅における
 平日ピーク時間帯の自動改札出場者数の減少率の平均値
 ※数値は、呼びかけ前を100とした場合の指数
 ※「呼びかけ前」は、2月17日の週の特定日
 ※ピーク時間帯は、各駅において7:30~9:30の間の1時間で最も利用者が多い時間帯
 ※主なターミナル駅は、以下のとおり
 首都圏:東京、新宿、渋谷、品川、池袋、高田馬場、大手町、北千住、押上、日暮里、町田、横浜
 関西圏:大阪・梅田、京都、神戸三宮、難波、京橋

大会期間中の滞在人口の変化

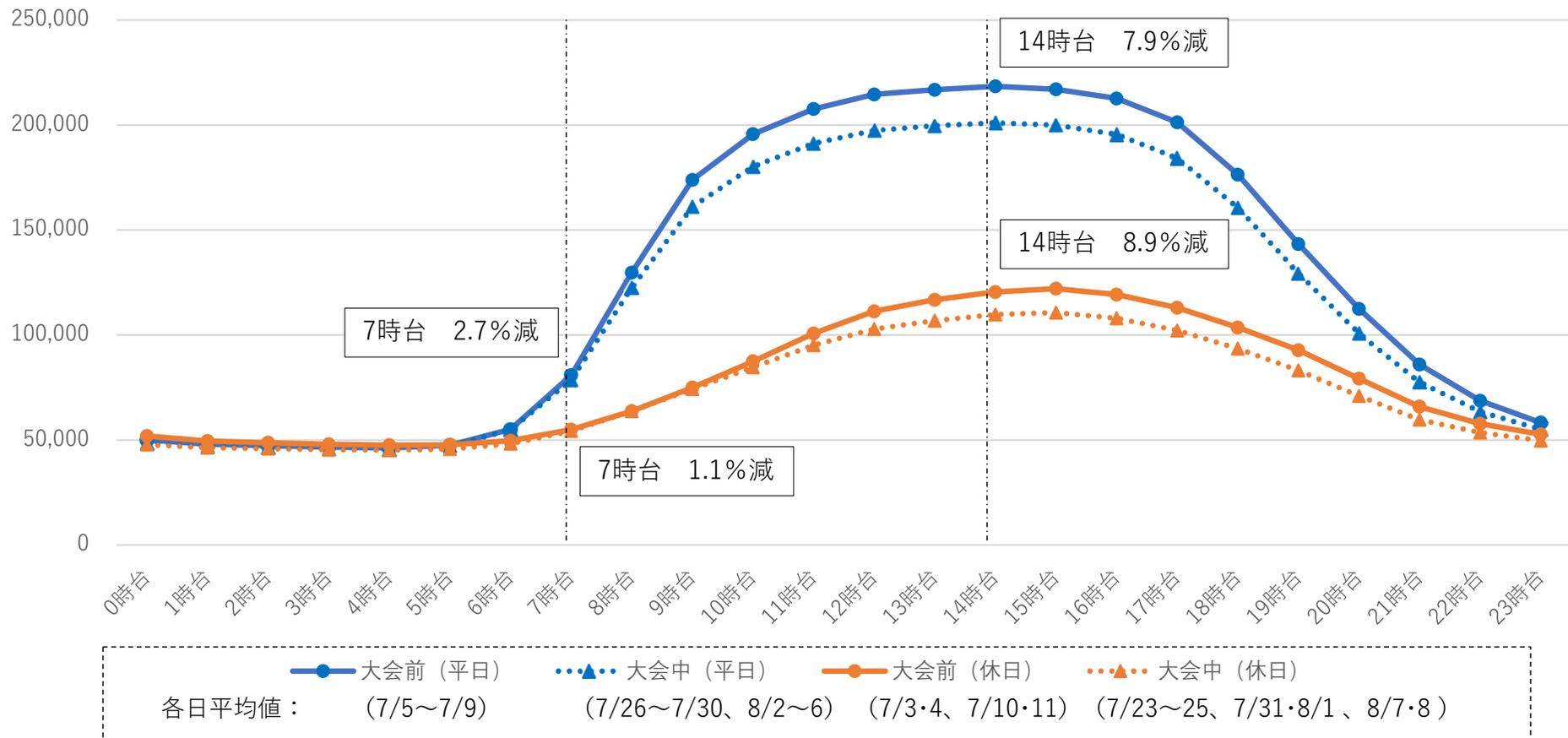
（株）ドコモ・インサイトマーケティングの「モバイル空間統計[®]」データを利用し東京都で作成

500mメッシュ内の推定滞在人口

TDMの重点取組地区

平日・休日の平均値

平日：日中減少（在宅勤務等によるものと想定）
 休日：日中減少



《重点取組地区》

- ①新宿 ②渋谷 ③品川 ④浜松町・田町 ⑤新橋・汐留 ⑥大手町・丸の内・有楽町 ⑦八重洲・日本橋
- ⑧神田・秋葉原・御茶ノ水 ⑨九段下・飯田橋 ⑩番町・麴町 ⑪青山・表参道 ⑫赤坂・六本木
- ⑬霞ヶ関・虎ノ門 ⑭晴海・有明・台場・豊洲・大井ふ頭 ⑮池袋 ⑯大崎

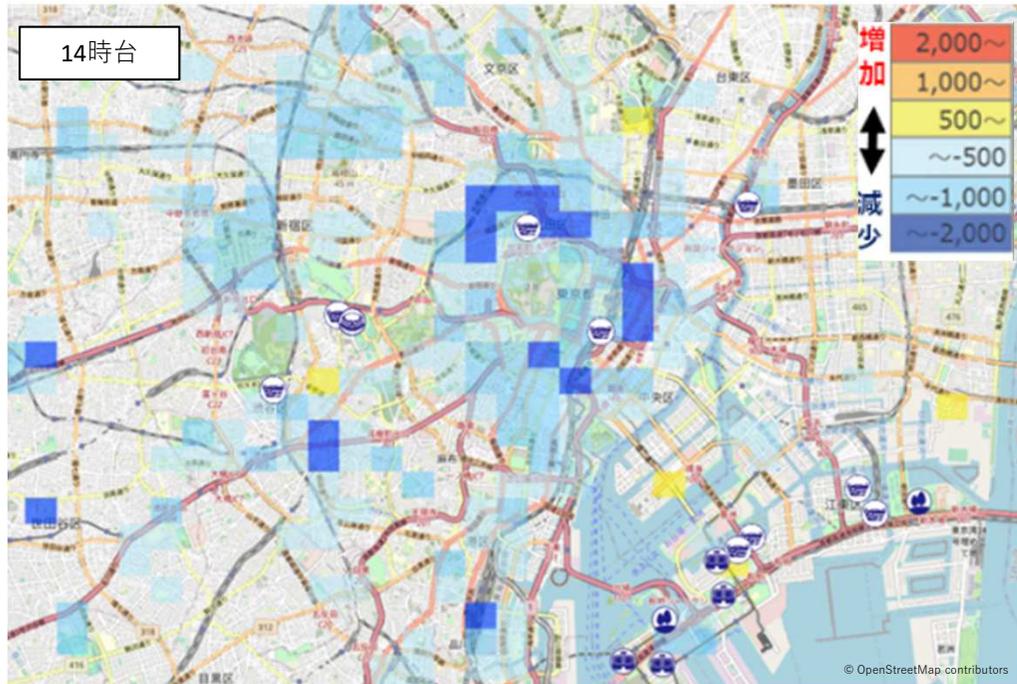
大会期間中の滞在人口の変化

(株)ドコモ・インサイトマーケティングの「モバイル空間統計®」データを利用し東京都で作成

都心部

緊急事態宣言前と比べて都心部の人流は減少

7月2日(金)と7月30日(金)の比較



テレビ視聴率 (参考)

- ・開会式 (7/23 20:00～) 56.4%
- ・閉会式 (8/ 8 20:00～) 46.7%
- ・野球男子決勝 (8/ 7 20:30～) 37.0%
- ・陸上男子マラソン (8/ 8 8:05～) 31.4%
- ・サッカー男子準決勝 (8/ 3 19:40～) 30.8%

都内競技会場

都内競技会場周辺の人出は少ない

日付 時刻	2021年7月30日 (金)				
	6~9	9~12	12~15	15~18	18~21
オリンピックスタジアム	1人	2人	2人	1人	1人
東京体育館	1人	2人	2人	1人	1人
国立代々木競技場	1人	2人	2人	3人	2人
日本武道館	2人	3人	3人	3人	2人
東京国際フォーラム	3人	3人	3人	3人	3人
国技館	2人	2人	2人	2人	2人
馬事公苑	1人	1人	1人	1人	1人
武蔵野の森総合スポーツプラザ	1人	1人	1人	1人	1人
東京スタジアム	1人	1人	1人	1人	1人
武蔵野の森公園	1人	1人	1人	1人	1人
有明アリーナ	1人	1人	1人	1人	1人
有明体操競技場	1人	1人	1人	1人	1人
有明アーバンスポーツパーク	1人	1人	1人	1人	1人
有明テニスの森	1人	1人	1人	1人	1人
お台場海浜公園	1人	1人	1人	1人	1人
潮風公園	1人	1人	1人	1人	1人
青海アーバンスポーツパーク	1人	1人	1人	1人	1人
大井ホッケー競技場	1人	1人	1人	1人	1人
海の森クロスカントリーコース	1人	1人	1人	1人	1人
海の森水上競技場	1人	1人	1人	1人	1人

【凡例】

500mメッシュあたりの人口

3人 25,000人～ 2人 10,000人 1人 5,000人～ 0人 0人～

競技会場等の周辺における滞在人口の変化

(株)ドコモ・インサイトマーケティングの「モバイル空間統計[®]」データを利用し東京都で作成

オリンピックスタジアム周辺

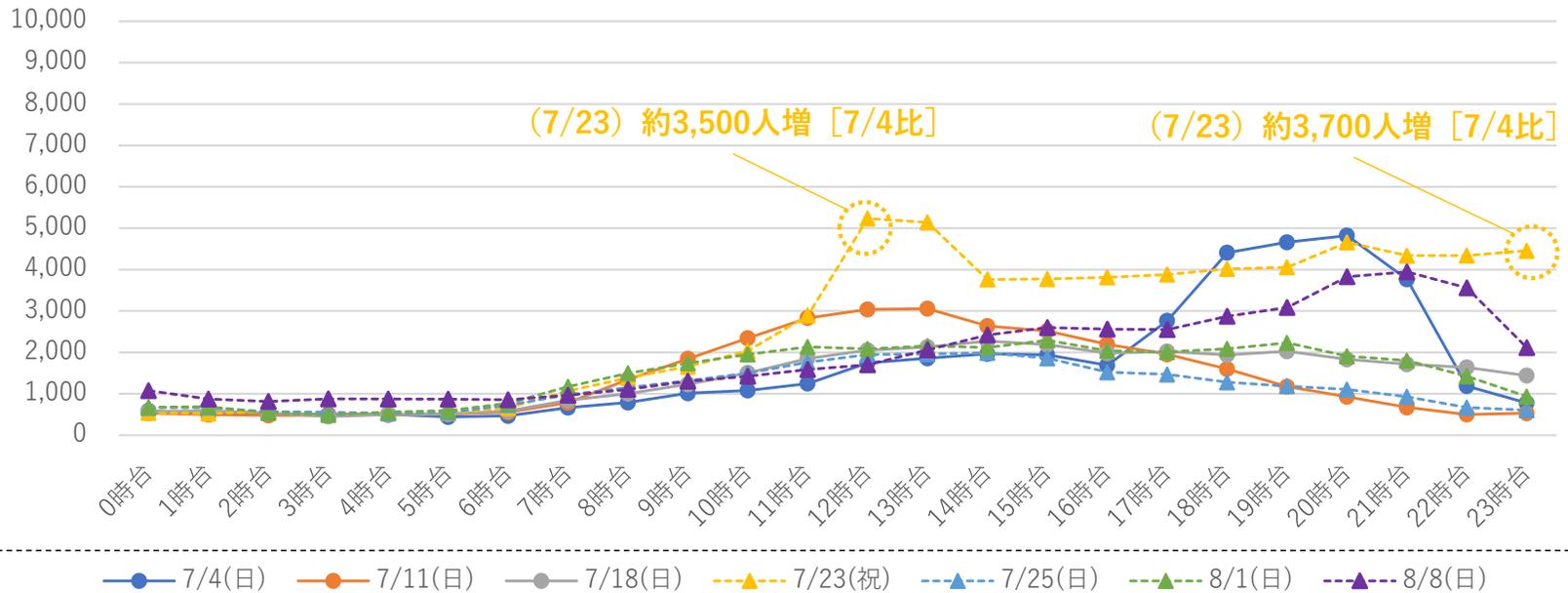
周辺主要施設：オリンピックスタジアム、明治神宮野球場 等

500mメッシュ内の推定滞在人口

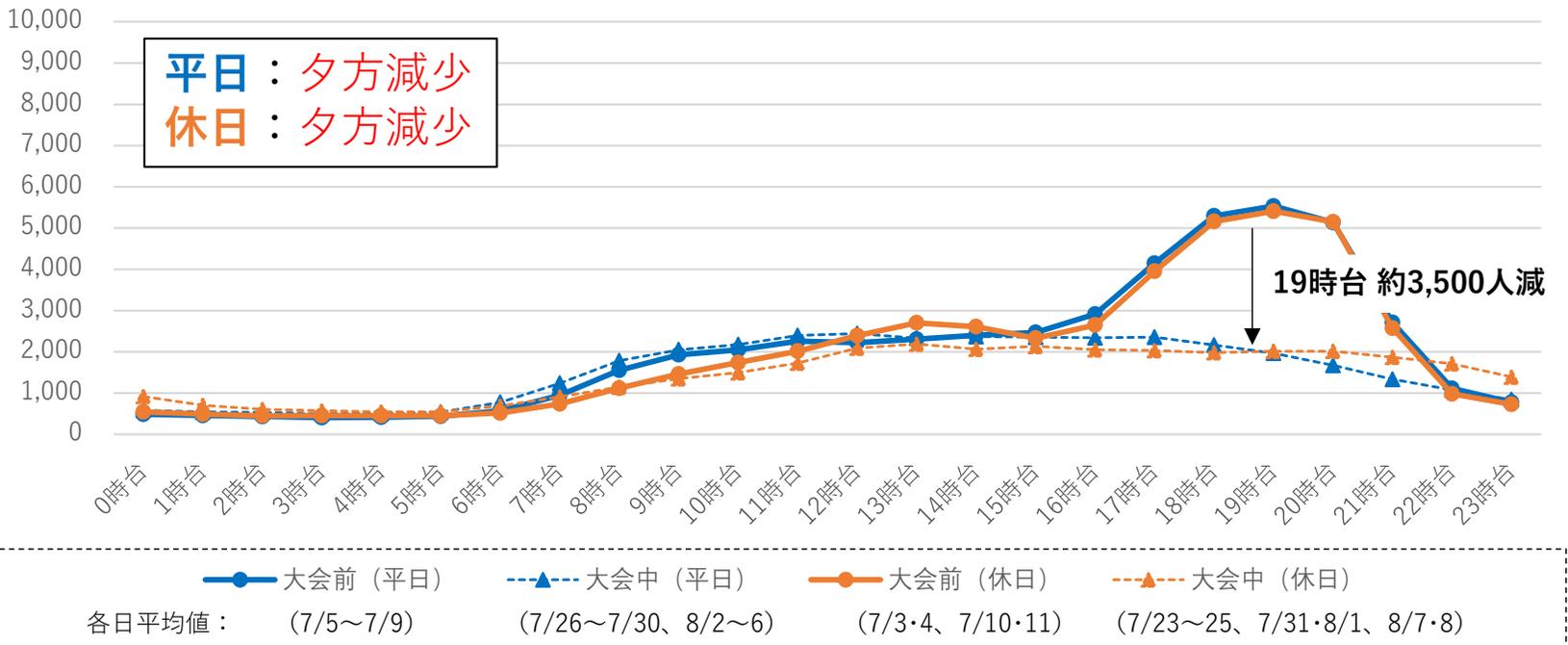
休日の特定日

グラフ設定日における
周辺施設等の状況

- ・ 7/4
イベント開催
- ・ 7/11
イベント開催
- ・ 7/23
ブルーインパルス飛行
開会式
- ・ 8/8
閉会式



平日・休日の平均値



競技会場等の周辺における滞在人口の変化

（株）ドコモ・インサイトマーケティングの「モバイル空間統計[®]」データを利用し東京都で作成

お台場周辺（東京テレポート駅付近）

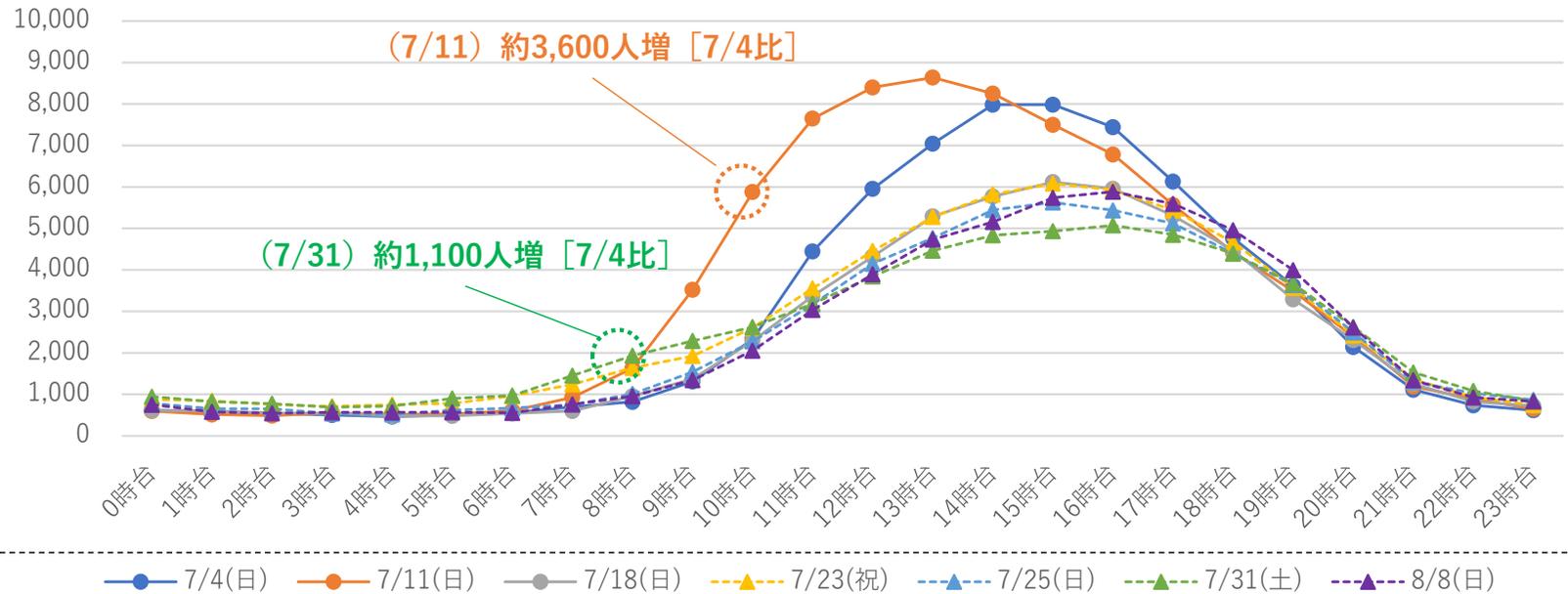
周辺主要施設：東京ビックサイト青海展示棟 等

500mメッシュ内の推定滞在人口

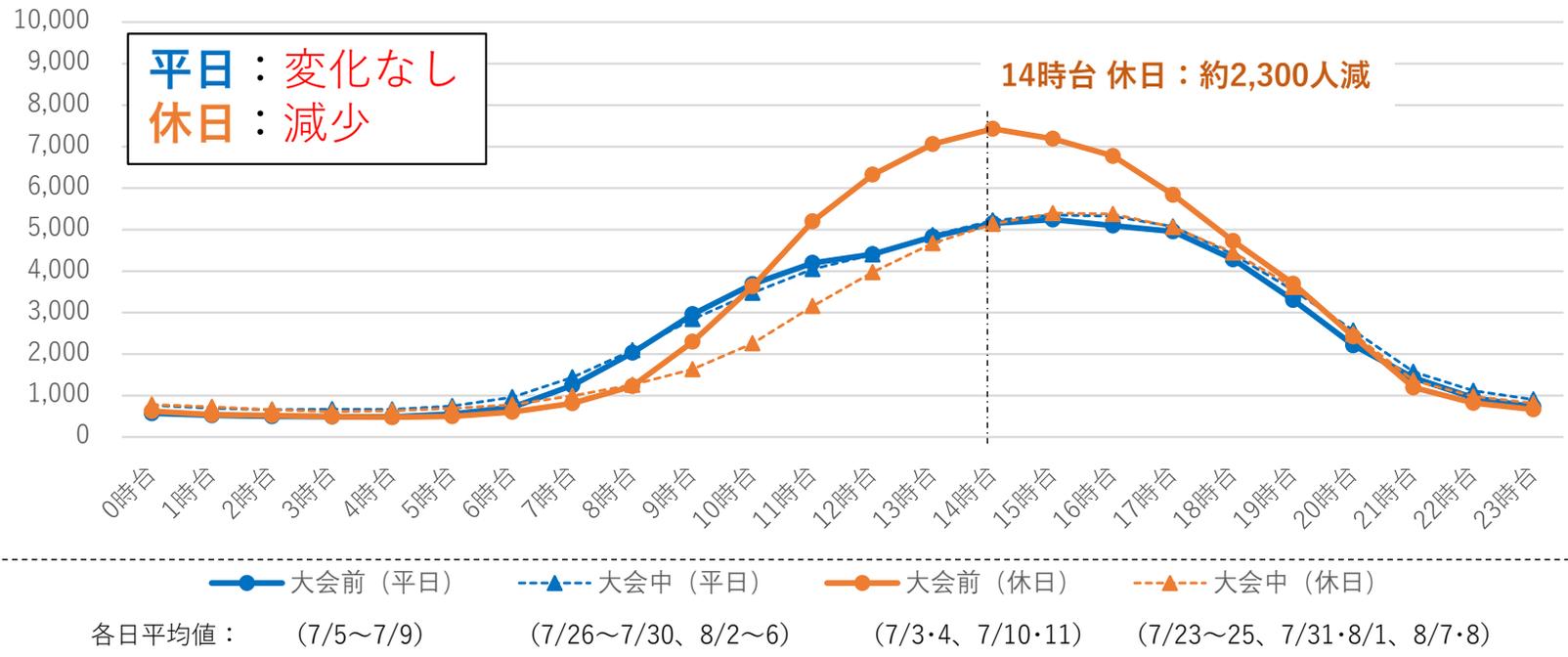
休日の特定日

グラフ設定日における
周辺施設等の状況

- ・ 7/4 イベント開催
- ・ 7/11 イベント開催
- ・ 7/31 トライアスロン競技



平日・休日の平均値



競技会場等の周辺における滞在人口の変化

（株）ドコモ・インサイトマーケティングの「モバイル空間統計[®]」データを利用し東京都で作成

聖火台周辺（夢の大橋付近）

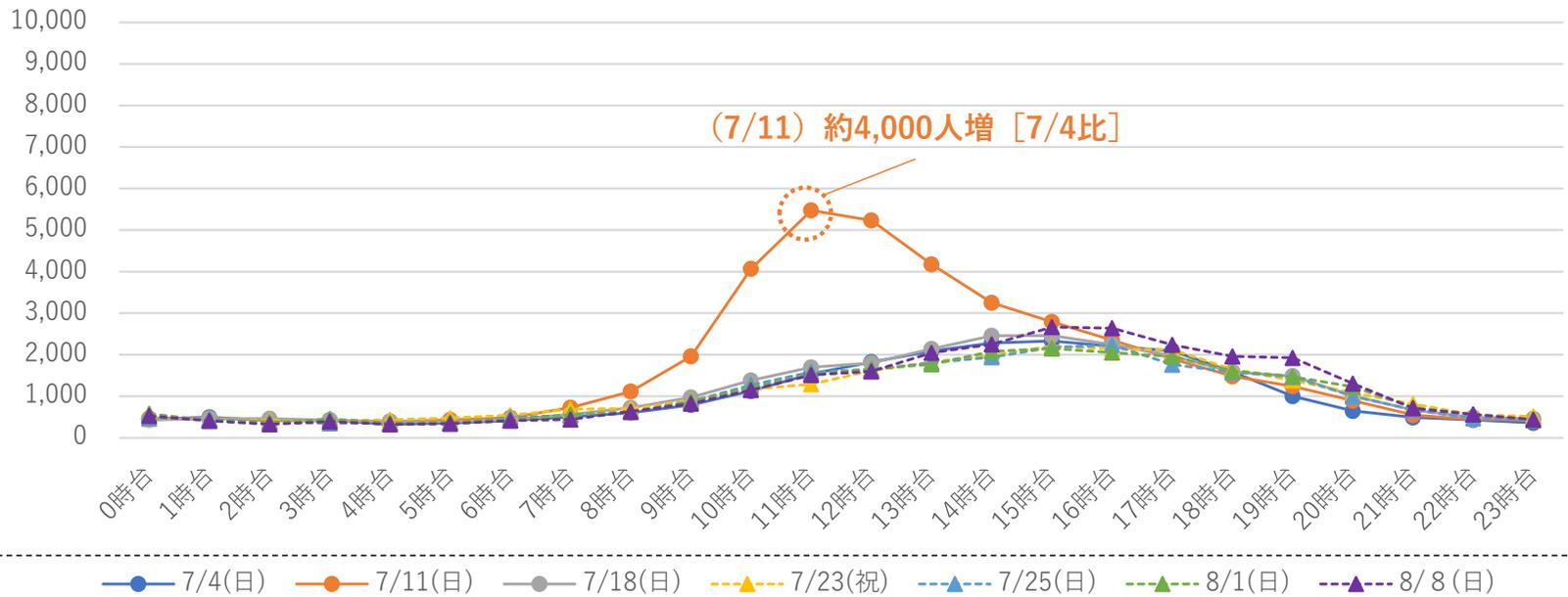
周辺主要施設：聖火台、東京ビックサイト青海展示棟 等

500mメッシュ内の推定滞在人口

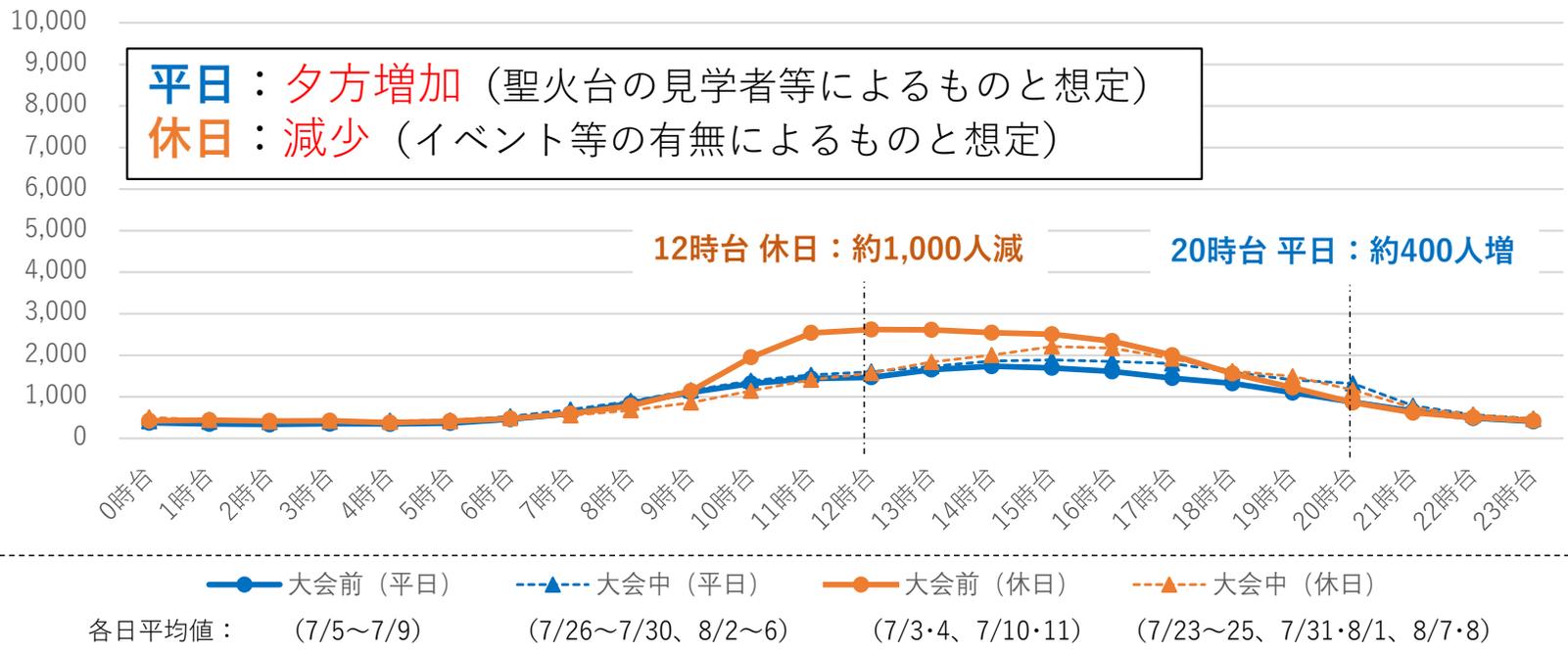
休日の特定日

グラフ設定日等における
周辺施設等の状況

- ・ 7/11 イベント開催
- ・ 7/24～ 聖火台設置
- ・ 8/8 聖火台点灯最終日



平日・休日の平均値



競技会場等の周辺における滞在人口の変化

(株)ドコモ・インサイトマーケティングの「モバイル空間統計[®]」データを利用し東京都で作成

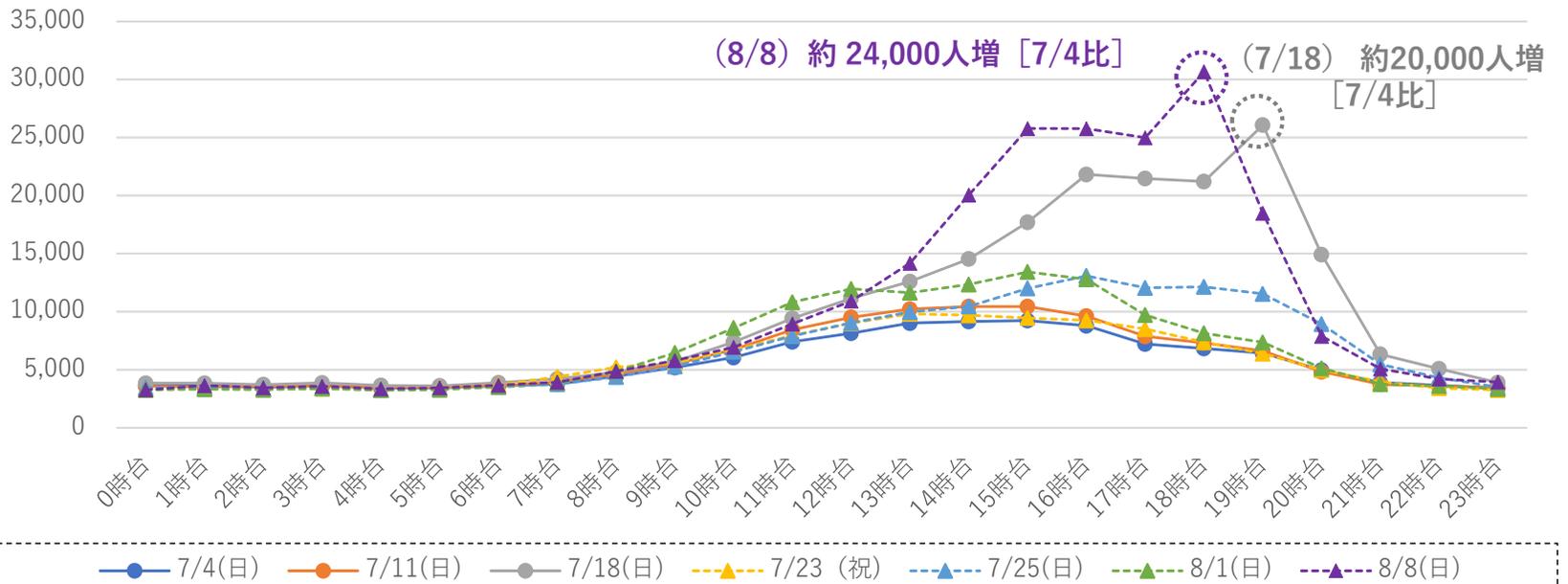
水道橋周辺

周辺主要施設：東京ドーム 等

500mメッシュ内の推定滞在人口

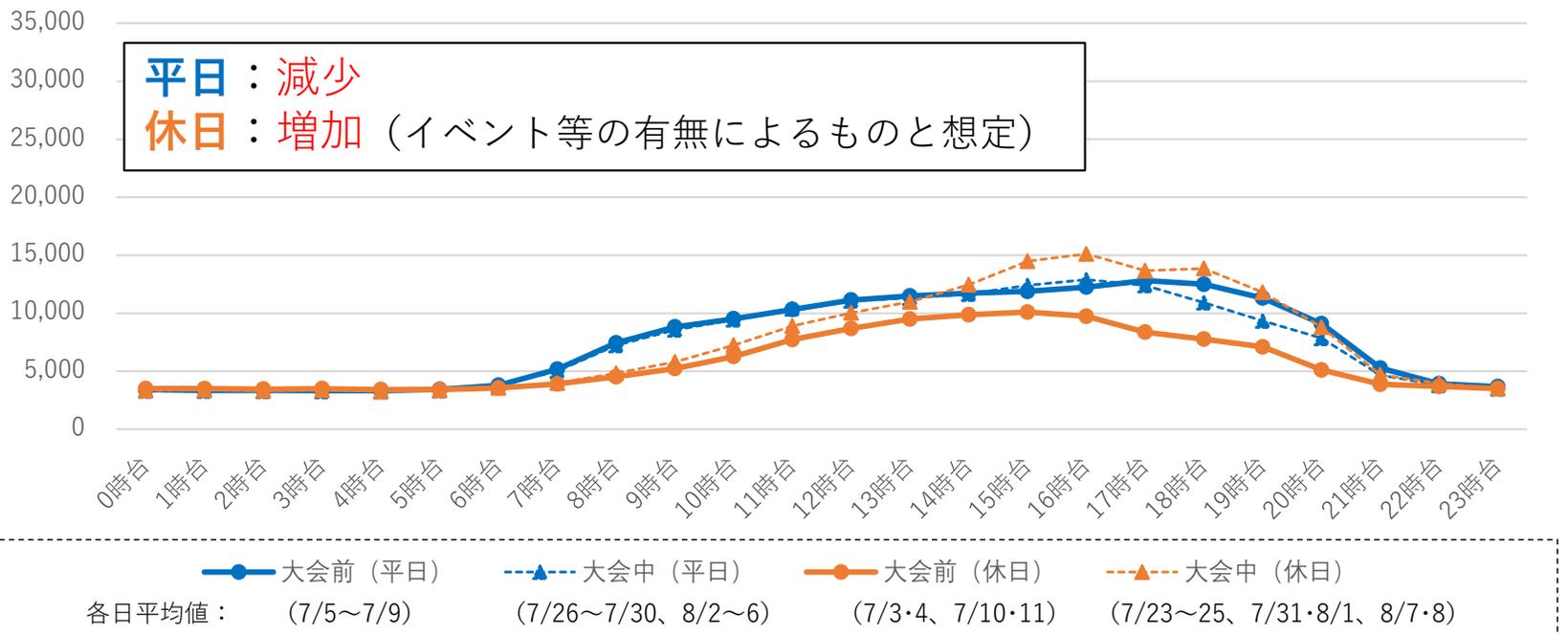
休日の特定日

※各日でイベント等開催



平日・休日の平均値

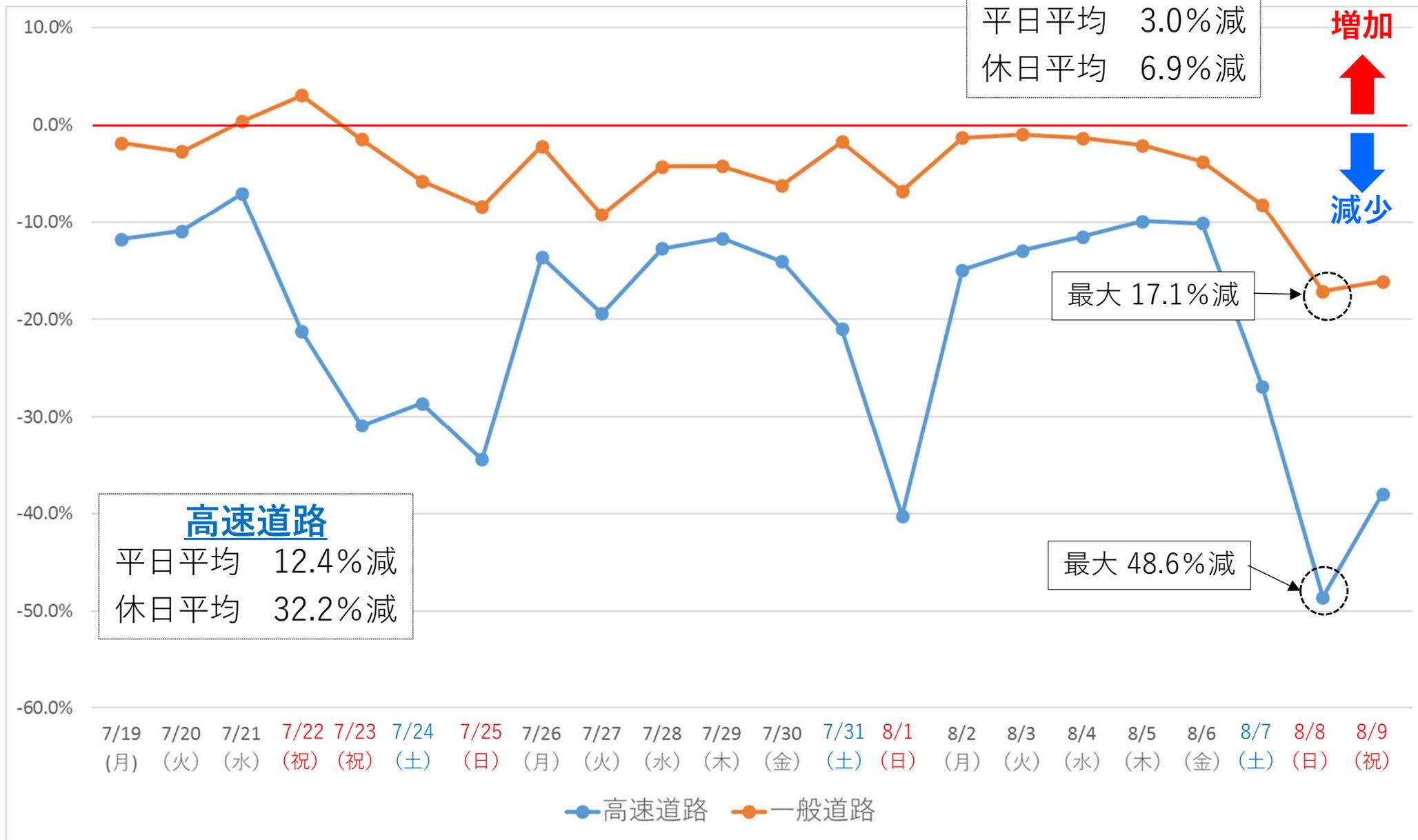
平日：減少
休日：増加 (イベント等の有無によるものと想定)



大会期間中の交通量の変化【7/19~8/9】

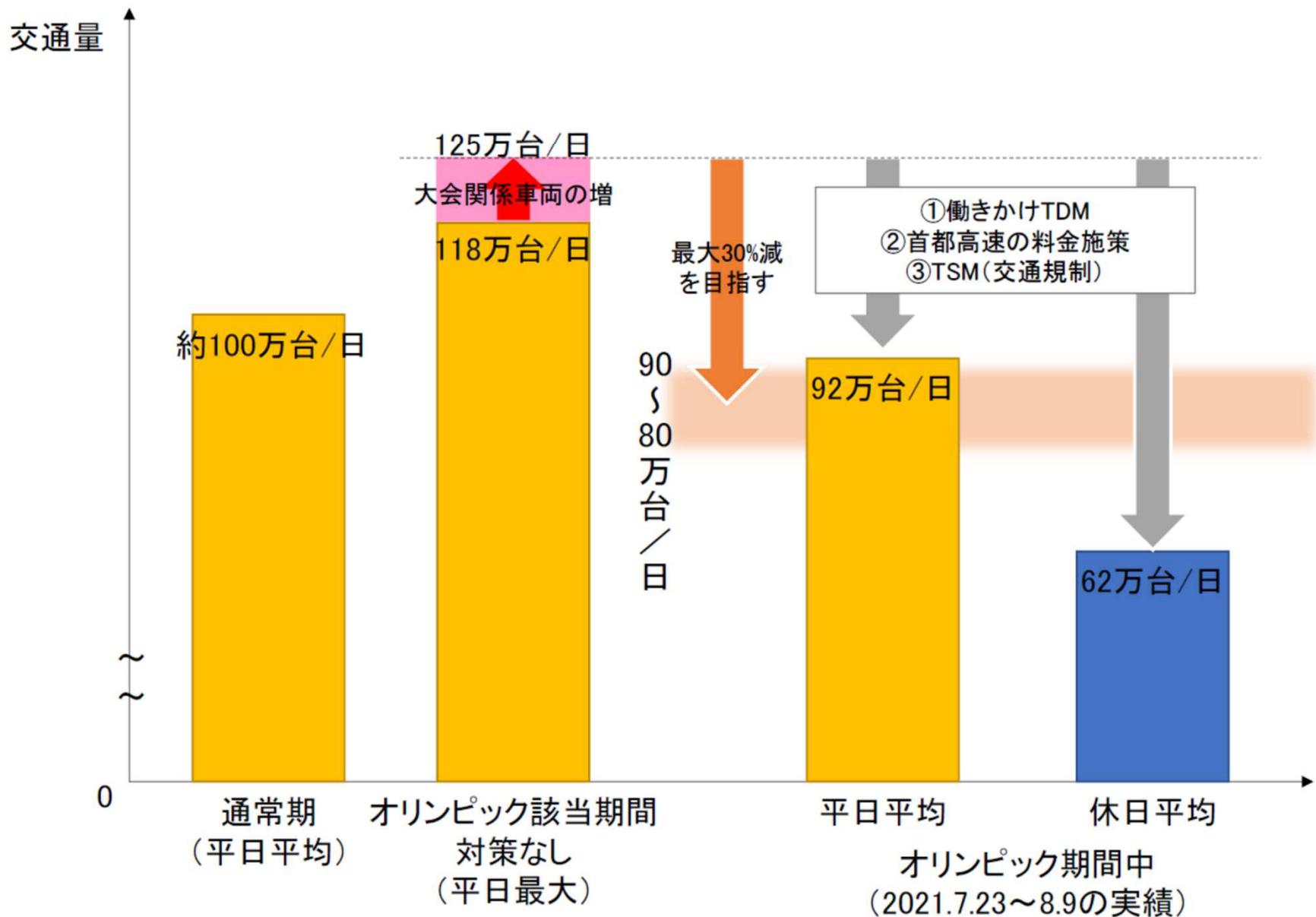
交通量

2018年比の断面交通量(概ね外環内側)



※国交省道路局HP[トラカンデータ]より
(2018年比は、2018年の同月同曜日の平均値を用いている。)

首都高速の交通量 目標と実績





CONFIDENTIAL
TOKYO 2020

TOKYO 2020

パラリンピックに向けて

パラリンピック特有のコロナ対策

①感染リスク

- ・パラアスリートだから、感染しやすいということはない。
- ・選手、競技役員のワクチン接種率は88%。

②感染防止対策

- ・アスリート向け感染防止策は原則オリパラ共通となっており、「**プレイブック（アスリート/チームオフィシャル）**」として策定・公表済。
- ・パラアスリートだから感染防止対策ができないというわけではなく、パラアスリートの障がいの程度は様々で、多くの選手は自立的に健康管理や感染防止に取り組むことが可能。
- ・一部、他者の支援を必要とするパラアスリート（※次頁参照）がいるので、パラアスリート向けの「追加的な」考慮事項を別途まとめている。

③感染後の重症化リスク

- ・パラアスリートだから、重症化しやすいということではない一方、一般に、基礎疾患があると肺炎などの症状が重症化しやすいとも指摘されており、きめ細やかな対応が必要。

パラリンピック特有のコロナ対策

(※) 他者の支援を必要とするパラアスリートの具体的事例

- ・ 上肢の麻痺や欠損の選手で、消毒液のある場所までは行けても、適切に自身の指に消毒液をつけることが困難なアスリートは、NPC選手団スタッフ等がサポート
- ・ 重度の脳性麻痺の選手で、自身で車いすのハンドリムなどの消毒が困難な場合は、NPC選手団スタッフ等が消毒液を塗布したペーパータオル等で消毒をサポート
- ・ 知的障がいの選手の一部で、検温結果の確認やアプリ等を用いた体温の報告作業等が困難なアスリートは、NPC選手団スタッフ等が代理で入力
- ・ 視覚に障がいのある選手は、一人でフィジカル・ディスタンスを確保するのが難しく、また消毒液の設置場所や操作方法などを認識しづらい場合があるため、声かけや消毒動作が完了することを見守る等によりサポート

パラリンピックの特性上の配慮

パラリンピックに向けて、オリンピック時のノウハウを踏まえた対策に加え、パラリンピックの特性上の配慮を行う。

○介助者について

- ・ フィジカル・ディスタンスの考え方
- ・ 本人、介助者が陽性者／濃厚接触（疑い）者になった場合のオペレーションフロー整備、周知

○隔離施設、療養施設について

- ・ バリアフリー対策
- ・ 利用することになった者の心理的なケア

○ホストタウン、分村、地方会場の医療・療養体制や施設の強化

○日本在住者も含めた、行動管理、感染防止策の再徹底

パラリンピックのコロナ感染防止対策 考慮事項

- オリンピック閉会后、パラリンピックに参加するために、引き続き東京・日本に滞在する全ての大会参加者は、プレイブックに規定する行動規範やルールに従う必要があります。
- 日本を出国し再入国する必要はありませんが、オリンピックでの役割を終えて出国した後に、パラリンピックのために再入国することは可能です。



- 近距離で他者が介助が必要な人々に対して、2メートルの距離の確保は強制されません。
 - ー 支援を行う際には、常にマスクを着用してください。
 - ー 支援をした後には、手指を消毒し、最低2メートルの距離を確保しましょう。
 - ー 可能な限り物理的な接触は最小限に抑えるように心がけてください。
- 読唇や明瞭な発音、または顔の表情でコミュニケーションをする人と会話する、あるいは介助する場合は、マスクを一時的に外すことができます。

その場合は最低2メートルの距離を保ち終了後可能な限り速やかにマスクを着用して下さい。

- 車いすやその他の移動支援機器は、特定の状況で他者（例：運転手等）に扱われることがあるので、除菌シート等で触れられる箇所を定期的に消毒してください。
- 競技（パラサイクリングや5人制サッカーなど）によっては、操縦者やコーチが視覚障がい者選手とコミュニケーションをとるため、大声を出すことが重要なケースもあります。



このような特別な状況においては大声を出すことは許されますが、マスクの着用とフィジカル・ディスタンスの確保は遵守してください。

- 無症状（緊急入院が必要ない場合）のパラリンピック選手及びチーム役員の隔離施設に関しては、別途お知らせします。アクセシビリティ要件、補助を必要とするパラリンピック選手及びチーム役員のアクセスは検討されアナウンスされます。

(参考)

来日関係者数

オリンピック時 約4.1万人に対して、パラリンピック時 約1.2万人



オリンピックファミリー	1.2
NOC	14.8
IF	3.1
OBS	11.9
プレス	4.6
その他	5.8
計	41.0



パラリンピックファミリー	0.4
NPC	5.9
IF	0.9
OBS	1.6
プレス	0.8
その他	2.2
計	12.0

東京2020オリンピック競技大会の報告について（概要）

【開催都市本部】

- 第1回開催都市本部会議を開催し、安全安心の確保や全庁一丸となって大会に取り組むことを指示
- 大会期間中は、幹事会を5回開催し、大会関係者のコロナ関連情報や台風対応、輸送の状況などの大会運営に関する状況や各局の大会関連事業の情報などを随時共有

【東京2020オリンピック聖火リレー】

- 区部・多摩地域では公道走行中止。島しょでは大島町を除き公道走行を実施。点火セレモニーは各日のセレブレーション会場で実施
- 全ての聖火セレモニーをネット配信し、リモート観戦を推奨
- 大会史上初めて聖火リレートーチに水素を活用

【都市オペレーションセンター（COC）】

- 大会期間中は、24時間体制で、新型コロナウイルスなどの都市運営情報の集約・共有、競技時間の変更などの大会運営情報等の収集・共有
- 組織委員会が設置したメインオペレーションセンター（MOC）や保健衛生拠点、輸送センター等の関係機関との情報共有を行った。
- 台風対応にあたっては、最新の台風情報収集や関係局や組織委員会と情報共有し、迅速な対応ができるよう関係機関と調整を行った。

【新型コロナウイルス感染症対応】

- 水際対策、定期的な検査、行動管理、健康管理の徹底により、陽性者数を抑制
- 空港検疫検査における陽性率は0.09%、スクリーニング検査における陽性率は0.02%となった。
- 都内における訪日大会関係者の陽性者に占める入院数は累計で3人、宿泊療養施設についても原則組織委員会が確保した施設を活用

【シティキャスト】

- 当初予定していたラストマイル等での活動はなくなったが、東京スポーツスクエアでの案内や羽田空港での選手等のお迎えやお見送り、聖火台周辺における来場者への注意喚起など延べ6000名の方々に参加いただいた。
- ボランティアの声として、「オリンピックに関わることができ満足した」、「機会があればまた活動したい」等、回答者の8割から活動に満足したとの回答があった。

【施設管理】

- 台風対応として組織委員会や指定管理者等と連携し、都が所有する競技会場にて事前に雨水侵入対策等の被害防止策を実施

【大会輸送】

- 交通マネジメントやテレワーク等の推進により大会期間中において、交通量は、2018年比の断面交通量と比較し、高速道路で平日12.4%減、休日32.2%減、一般道で平日3.0%減、休日6.9%減。人流は、大会前の7月上旬比の滞在人口と比較し、通勤時間帯の7時から8時について、平日2.7%減、休日1.1%減、日中時間帯の14時から15時について、平日7.9%減、休日8.9%減
- 交通量・人流ともに減少しており、交通マネジメントなどの運用による効果がみられた。

【競技関連】

- 台風や暑さなどの影響により、ボート、テニス、サッカー、マラソンなどの一部のセッションに変更あり

【気運醸成】

- 特設WEBサイト「みんなの東京2020応援チャンネル」開設。ライブサイト・パブリックビューイングの見直しによりステイホームでの観戦の徹底を呼び掛け

【東京スポーツスクエア・メインプレスセンターシティインフォメーション】

- 国内外のメディア等に対し、大会の情報や開催都市東京の魅力を発信
- 入国14日以内の公認メディアを対象に取材機会の提供し東京の魅力を発信

【事前キャンプ・ホストタウン】

- 事前キャンプは3区4市2民間で実施
- 万全な感染症対策により、選手団からは陽性者が発生することなく、バブルを保った安全・安心な事前キャンプ等を実施することができた。

【復興オリンピック・パラリンピック】

- 福島県Jヴィレッジから聖火リレーがスタート
- 選手に贈られるビクトリーブーケに被災県産の花を活用。選手村食堂では被災地産の食材も提供
- 有明アリーナに、復興のシンボルとなる樹木（岩手・宮城・福島・熊本各県の県木）を植樹
- 東京スポーツスクエア・メインプレスセンターにて復興情報を発信

【多言語による情報配信】

- 組織委員会と連携し、総務省の技術協力を得て、大会期間中「おもてなしガイドアプリ」を活用して、会場にいる日本語が分からない方や音が聞こえにくい方に向けてアナウンス等を多言語で文字配信（日・英・中（繁・簡）・韓・西・仏の7言語）

パラリンピック競技大会における学校連携観戦について

1 学校連携観戦の状況

- これまで、東京都及び都教育委員会は、オリンピック・パラリンピック教育の一環として、組織委員会が販売する「学校連携観戦チケット」を活用した競技観戦に向けて準備
- 令和3年8月16日付「IPC・東京2020組織委員会・東京都・国 共同ステートメント」において、保護者等の意向を踏まえて自治体や学校設置者が希望する場合には、安全対策を講じた上で実施できるとされた。
- 現在、区市町村教育委員会及び学校と、参加人数や移動手段等の確定に向け調整中。参加にあたり、学校は、本人・保護者の意向を確認中。

2 現在の競技観戦の希望状況等（令和3年8月18日時点）

- 現時点での参加意向を示している自治体・学校
 - （区市町村） 8団体 約130,000人
 - （都立学校） 23校 約2,000人
 - （私立学校） 36校 約6,000人
- * 参加者数は、区市町村・学校と調整中。
- 観戦予定期間 令和3年8月25日（水曜日）～9月5日（日曜日）
- 観戦予定会場数 12会場

3 安全の確保に向けた準備

(1) これまでの安全対策の取組

- 引率教職員による競技会場の実地踏査（4月～7月）
- 会場動線等の動画を配信（7月）
- 入場方法や会場情報を掲載した「観戦の手引」の作成、配信（7月）
- 「観戦の手引」を解説した動画の配信（7月）

(2) 競技観戦当日の主な対策

「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン」（都教委）や区市町村で定める感染症対策のガイドライン等による、健康観察やマスクの着用等、学校が実施する基本的な感染症対策に加え、競技観戦に当たっては、以下の対策を実施

- 会場内におけるソーシャルディスタンスを保った座席配置
- 貸切バスを利用する学校への支援として、競技会場近辺での乗降場所の調整や会場までの誘導を実施
- クールスポット（冷房付きテント）の設置
- 暑さ対策用品（遮光ボード、冷却用タオル、熱中症応急対応用品セット）や飲料水の配布
- 競技観戦に関わる情報を一元的に管理する運営本部を設置し、学校を支援

東京2020パラリンピック競技大会関連スケジュール

- 8月17日（火） 選手村 オープン
- 20日（金） 都内聖火リレー スタート
- 21日（土） メインプレスセンター（MPC）オープン
- 24日（火） 聖火リレー都内到着式
パラリンピック開会式
有明聖火台点灯
- 25日（水） 競技開始
- 28日（土） } 路上競技（トライアスロン）
- 29日（日） } パラリンピック期間中最多のメダリスト決定日
- 9月 5日（日） 路上競技（マラソン）
パラリンピック閉会式

輸送
センター

8月16日～
24時間稼働

都市オペレー
ションセンター

8月24日
～9月5日
24時間稼働

9月8日
まで稼働

9月12日
まで稼働

東京2020オリンピック競技大会の報告について

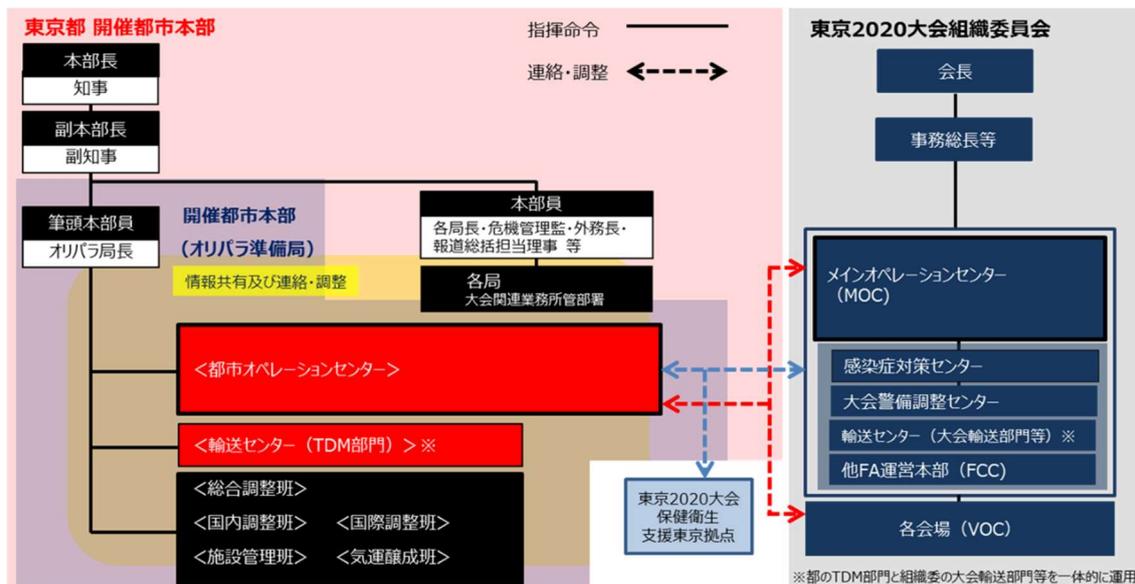
開催都市本部

○ 経過・トピック

- ・大会開催に向けて、知事を本部長とした全庁的な体制「開催都市本部」を設置（7月1日）
- ・開催都市本部会議を開催し、大会時の体制やオペレーションなどを確認。本部長から、安全安心の確保や全庁における応援体制について指示。（7月16日）
- ・実際の運営に伴い発生した課題に対し、各局に応援を依頼（7月21日）し、機動的に対応。
- ・大会運営に関する緊急の応援が必要になった場合に備え、緊急応援要員名簿の作成を依頼。（7月26日）
- ・大会期間中は、幹事会を5回（第1回：7月26日、第2回：7月29日、第3回：8月2日、第4回：8月5日、第5回：8月10日）開催し、大会関係者のコロナ関連情報や台風対応、輸送の状況などの大会運営に関する状況や各局の大会関連事業の情報などを随時共有。

● 「開催都市本部」

- ・知事を本部長とした全庁的な体制を設置し、都市オペレーションセンターと関連局等とのより円滑・迅速な調整を実現。
- ・大会を契機に推進する事業など、都市オペレーションセンターが連絡調整する範囲以外の業務についても、情報を一元的に集約。



○ 総括

- ・ 幹事会の開催頻度を上げて、大会運営に関する情報をタイムリーに共有することにより、各局の理解と協力を得やすい体制を構築。
- ・ 大会運営情報に併せて、各局が連携して効果的に実施できるよう、各局が大会を契機に推進する事業の情報も共有。

〈主な各局の事業〉

- ・ 東京都メディアセンター オンラインブリーフィング（政策企画局）
- ・ 文化プログラム「Tokyo Tokyo FESTIVAL」
ウェブサイト「TOKYO CULTURE LIVE STUDIO」（生活文化局）
- ・ 都内の産業等の魅力発信、日本各地の PR
「Tokyo Tokyo ALL JAPAN COLLECTION」（産業労働局）
- ・ 選手村地区プレゼンテーション事業（都市整備局）
- ・ バリアフリーVR 観戦「未来のスター指定席」
みんなの声をアスリートに届けよう（教育庁）

○ パラリンピックに向けて

- ・ パラリンピック期間中についても、引き続き開催都市本部を通じて、必要な情報を共有して、各局と連携を図っていく。
- ・ 学校連携観戦も予定されているため、ラストマイル運営など各局と連携体制がとれるように対応。

東京2020オリンピック聖火リレー

【活動内容等】

東京2020オリンピック聖火リレー 実施状況

リレー実施日	区市町村	セレモニー会場	走行ランナー数	関係者観客数
Day1 7月9日(金)	世田谷区	駒沢オリンピック記念公園陸上競技場 聖火お披露目式	-	-
	世田谷区、狛江市、稲城市、町田市	町田市 町田シバヒロ(点火セレモニー)	104	388
Day2 10日(土)	多摩市、日野市、昭島市、八王子市	八王子市 富士森公園(点火セレモニー)	94	403
Day3 11日(日)	檜原村、奥多摩町、日の出町、 青梅市、瑞穂町	瑞穂町 瑞穂ビューパーク競技場(点火セレモニー)	77	341
Day4 12日(月)	羽村市、あきる野市、福生市、 武蔵村山市、立川市	立川市 TACHIKAWA STAGE GARDEN (点火セレモニー)	80	321
Day5 13日(火)	国立市、国分寺市、小平市、 東大和市、東村山市	東村山市 国立療養所多摩全生園 (点火セレモニー)	82	334
Day6 14日(水)	清瀬市、東久留米市、西東京市、 小金井市、府中市	府中市 東京競馬場(点火セレモニー)	98	353
Day7 15日(木)	三宅村、神津島村、新島村(新島)、 新島村(式根島)、利島村	公道走行	19	1,373
	大島町	大島町仲の原園地(点火セレモニー)	8	31
Day8 16日(金)	御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、 小笠原村(父島)、小笠原村(母島)	公道走行	19	1281
	調布市、三鷹市、武蔵野市	武蔵野市 武蔵野陸上競技場(点火セレモニー)	61	309
Day09 17日(土)	杉並区、中野区、練馬区	練馬区 練馬総合運動場公園(点火セレモニー)	76	308
Day10 18日(日)	豊島区、板橋区、北区、足立区	足立区 中央卸売市場足立市場 (点火セレモニー)	98	430
Day11 19日(月)	葛飾区、江戸川区、墨田区、荒川区	荒川区 南千住野球場(点火セレモニー)	87	336
Day12 20日(火)	台東区、文京区、千代田区、中央区	中央区 中央区浜町公園(点火セレモニー)	130	533
Day13 21日(水)	江東区、大田区、品川区	品川区 しながわ中央公園(西口広場) (点火セレモニー)	91	482
Day14 22日(木)	目黒区、渋谷区、港区	港区 区立芝公園(点火セレモニー)	101	416
Day15 23日(金)	新宿区	東京都庁 都民広場(点火セレモニー、到着式)	40	167
			1,265	7,806

● 点火セレモニー

点火セレモニーは各日のセレブレーション会場で実施。各区市町村の長や、聖火ランナーの家族に見守られて、聖火をつないだ。

● 島しょ部の聖火リレー

島しょ部 9 町村 11 島のうち、点火セレモニーの希望があった大島町を除き 8 町村 10 島 11km を走行。全ての島しょに聖火はつながれた。渡航するすべてのスタッフ(組織委員会、実行委員会、警視庁等)は事前検査を実施。マスコミの皆様にも検査を要請。聖火リレー実施後、島しょ部でのコロナ感染はゼロ。

● リモート観戦の推奨

すべての聖火セレモニーをネットで配信(各日終了時点で 1,100~15,000 人が閲覧)。当日予定していた地元のイベントも映像提供いただき、ネット上で配信。全日、アーカイブとして視聴可能。

● 水素トーチの活用

大会史上初めて聖火リレートーチに水素を活用。燃料には世界最大級の再生可能エネルギー由来水素製造施設が設置されている福島県浪江町で製造され水素を活用。都内では 5 人のランナーが水素トーチを持った。

【水素トーチを持った聖火ランナー】

- Day1 東京都第一ランナー 松岡修造氏
- Day2 八王子市第二ランナー 古原靖久氏
- Day3 日の出町最終ランナー 高梨沙羅氏
- Day6 府中市最終ランナー 土屋太鳳氏
- Day15 東京都最終ランナー 中村勘九郎氏

● 活動の様子

<聖火お披露目式の様子>



<多摩市の様子>



<走行の様子：畠山愛理氏(式根島)>



<小笠原村走行の様子(父島)>



<中野区の様子 右:中川翔子氏>



<中村勘九郎さん走行の様子 >



都市オペレーションセンター（COC）

○ 経過・トピック

【情報集約・報告業務】

○都市運営情報の集約・共有

都市運営情報（新型コロナウイルス関連情報、ライフライン、公衆衛生、環境衛生、治安情報等）やシティキャスト活動情報を各所管及び関係機関から集約し、組織委員会に共有した。

○大会運営情報等の収集・共有

COCについては本部・支部ともに24時間体制とし、組織委員会から定期的に大会運営情報等を収集するとともに、随時・突発案件については、COC支部や保健衛生拠点、警視庁・消防庁のリエゾン等を通じて、競技時間の変更や人流等の情報収集等を行った。また、都の競技会場の施設管理や輸送の状況に関する情報については、局内各所管から併せて集約し、庁内への報告・関係者との共有を行った。

さらに、大会関係者の感染状況や入院・療養者数の情報集約を行い、庁内関係局と毎日共有するほか、モニタリング会議で報告を行った。

○台風に関する対応

台風8号、9号、10号の接近に際しては、総合防災部のCOC内連絡員を通じて最新の台風情報を随時収集するとともに、組織委員会からは競技への影響等の情報収集を行い、台風が都市運営に与える影響の分析や、大会にかかる都立競技会場の安全対策、シティキャストの活動維持・中止の判断など、都としての対応を行った。また、都が設置した救護所、仮設トイレ等の仮設設備については、風速等を踏まえた撤去判断の検討を事前に行い、迅速に対応できるよう関係機関等と調整を行った。

○熱中症等に関する対応

COC内に配置された組織委員会連絡員と連携し、会場内等で発生した熱中症や感染症等の事案の情報収集を行った。さらに、こうした事案情報をCOC本部医療救護担当等が分析し、熱中症の発生原因や対策等について、COC本部・支部内に共有するとともに、シティキャストの活動の際に、こまめな水分補給や体調が悪い場合は活動を控える等の呼びかけを徹底した。また、開催都市として、大会運営に携わるスタッフ等の熱中症を防止するため、支部を通じて組織委員会への情報の共有を行った。

・都内の熱中症件数及び気象情報（暑さ指数等）を毎日報告

日付	熱中症件数		暑さ指数		日付	熱中症件数		暑さ指数	
		過去3年平均		過去3年平均			過去3年平均		過去3年平均
7月20日(火)	92	123	31.8	30.5	7月30日(金)	32	103	29.2	29.8
7月21日(水)	99	114	30.6	29.4	7月31日(土)	48	153	30.7	31.2
7月22日(木)	69	113	31.0	28.7	8月1日(日)	71	213	32.0	32.0
7月23日(金)	73	139	30.8	28.1	8月2日(月)	68	209	31.5	31.1
7月24日(土)	73	118	29.9	29.7	8月3日(火)	61	213	31.5	31.6
7月25日(日)	53	85	31.3	30.1	8月4日(水)	108	160	32.6	31.9
7月26日(月)	53	57	29.0	29.6	8月5日(木)	73	169	32.6	32.4
7月27日(火)	31	38	26.7	28.7	8月6日(金)	70	159	31.8	32.2
7月28日(水)	54	39	31.2	29.2	8月7日(土)	40	146	29.9	29.3
7月29日(木)	47	77	30.8	29.3	8月8日(日)	10	105	27.4	29.9

暑さ指数(WBGT) (青)ほぼ安全 (水)注意 (黄)警戒 (橙)厳重警戒 (赤)危険

暑さにより、下記の競技時間、場所が変更

○ テニス

- ・ 7月29日(木) (センターコート及びコート1～3)
11:00～20:00→15:00～24:00
※当初予定よりコートを1面増やして対応
- ・ 7月30日(金) (センターコート及びコート1)
12:00～20:00→15:00～23:00
- ・ 7月31日(土) (センターコート及びコート1)
12:00～20:00→15:00～23:00
- ・ 8月1日(日) (センターコート)
12:00～20:00→15:00～23:00

○ 女子サッカー (決勝戦)

- ・ 8月6日(金) 11:00開始【オリンピックスタジアム】
→21:00開始【横浜国際競技場】

○ 女子ゴルフ

- ・ 8月6日(金) 7:30～16:00→7:30～14:00
- ・ 8月7日(土) 7:30～16:00→6:30～13:00

○ 陸上女子マラソン

- ・ 8月7日(土) 7:00開始→6:00開始

【会場周辺対応】

○周辺住民対応

COC本部において、競技会場所在区市等から連絡を受け、会場周辺に係る大会関係者の迷惑行為（私有地への無断駐輪・駐停車等）等を把握、調査のうえ、組織委員会に詳細を共有し、注意喚起を徹底することで再発防止に努めた。

○TWFC※エリアにおける対応

TWFCの拠点にCOC職員2ポストを常駐させ、組織委員会TWFCチームが運営するオリンピックプロムナード及び臨海部の状況確認と必要な対応を行った。

※トーキョーウォーターフロントシティ。聖火台を中心に7つの競技会場や大会関連施設等が集積するエリア。

《対応例》

スペクタキュラー鑑賞に伴う滞留の防止（台場駅周辺）

⇒組織委員会に依頼し、通路の入口にコーンバーを立て、「この先行き止まり」の旨の貼り紙を掲出

○トライアスロンにおける救護所の設置

路上競技であるトライアスロン競技時のお台場海浜公園周辺については、沿道に観客が集まることが想定されること、また、パラリンピックに向けた医療救護対応の検証のため、救護所を開所した。（7月26日、31日）

【飲食・持続可能性】

- ・選手村ダイニングについて、混雑状況の情報提供により密を生じさせないなど円滑な運営を実現するとともに、提供される料理についても、日本食を中心に各国選手らから好評であり、SNS等による発信が相次いだことが報道された。
- ・一方で、国立競技場における弁当大量廃棄の報道があったことを受け、組織委員会がお詫びのステートメントを配信し、余剰は廃棄ではなく、飼料化リサイクル・バイオガス化をしていることを説明するとともに、発注量の適正化措置を実施した。報道後速やかに、組織委員会に対し、事実関係を確認の上、適切な対応を行うよう申し入れるとともに、都側への情報共有を依頼した。

【COCの体制及び組織委員会等との連携】

○本部・支部間における連携体制

本部・支部ともに24時間体制とし、COC端末等ICTツールも活用し、COC本部及び都庁各局等の関係機関の対応状況やMOC内の対応状況等について、切れ目ない情報集約及び連携を行った。また、1日3回のライン合同ミーティングや、本部・支部間でのテレビ電話の常時接続等を通じてCOC内の情報共有を図り、対応を検討した。

○MOCとの連携体制

MOC内に都職員を24時間体制で配置し、MOC内で開催される会議等の情報収集を実施した。各会場の個別状況を随時情報収集し、COC本部・支部との共有を図った。

(例：台風等による各会場の対応・被害状況確認、お台場海浜公園の水質状況に伴う競技実施判断など)

○保健衛生拠点との連携

保健衛生拠点内にCOC職員を配置し、新規陽性者情報や宿泊療養施設の療養者数の収集・把握を行うことで、地域医療・療養体制への影響についてモニタリングし、関係局との情報連携を行った。

○輸送センター等関係機関との情報収集、連携

都内主要道路の事故情報や渋滞情報などを迅速に入手することにより、競技実施への影響の有無を速やかな把握を行った。

また、水道管破裂による道路通行止め等、輸送に影響を与える情報について、COC支部を通じて情報共有を行った。

なお、サイバーセキュリティ対策について、国、組織委員会等の関係機関と連携し情報共有等に取り組んだ。

○ 総括

【全体総括】

無観客開催に伴いラストマイル運営はなくなったが、都市運営情報を関係機関等から集約して組織委員会に提供するとともに、台風に関する各種情報を共有する等、連携して対応を行い、また、地域医療・療養体制への影響についてモニタリングし、関係局との情報連携を行ったほか、競技会場近隣の住民対応等の会場周辺対応を行うなど、開催都市として大会運営支援を行った。

- ・大会期間中の熱中症の発生状況について、組織委員会や消防庁と相互に情報共有を行うことで開催都市として把握を行うとともに、医療救護担当等が熱中症の発生原因や対策等を分析し、トライアスロンにおける救護所設置やシティキャスト等の対策に活用した。

【パラリンピックに向けて】

オリンピック期間に得たCOC運営の知見を活かし、オペレーションの改善を行っていく。

新型コロナウイルス感染症対応

○ 経過・トピック

【大会期間中における日常的なモニタリングの実施】

- ・COC本部と組織委員会感染症対策センター（IDCC）、保健衛生拠点、福祉保健局間の緊密な連携を図るため、リエゾンとして職員を7名配置し、定時・随時の情報共有を行った。
- ・空港検査や組織委員会が実施するスクリーニング検査の状況やアスリート等の陽性者の発生状況、入院、宿泊療養件数等の感染状況及び地域の医療、療養体制への影響等についてのモニタリングを行い、関係局等などに情報共有を行うとともに課題への対応を行った。

（1）空港検査

- ・国は、出国前2回の検査などアスリート等・大会関係者の入国に際し、水際対策の強化を行った。

空港検疫における検査の件数及び陽性者数（7月1日～8月8日の合計）

	検査数	陽性者数	検査数に占める陽性者数の割合
アスリート等・大会関係者 計	42,861 件	37 人	0.09%

【参考】令和3年8月10時点の空港海港検疫における陽性率：0.4%

- ・また、空港検疫で陽性者が発生した場合には、速やかに航空機内での濃厚接触の疑いのある者を特定し、速やかに移動車両を分けるとともに、個室での滞在・宿泊とするなど徹底した感染拡大防止策を行った。

（2）スクリーニング検査の徹底

- ・組織委員会は、定期的に新型コロナ陰性を確認して安全、安心な大会を担保するため、アスリート等・大会関係者に対し、入国後3日間に加え、アスリートは原則毎日、大会関係者は、アスリートとの接触レベルや役割等に応じて定期的にスクリーニング検査を実施した。

スクリーニング検査の検査数及び陽性者数（7月1日～8月8日の合計）

	検査数	陽性者数	検査数に占める陽性者の割合
アスリート等・大会関係者 計	676,789 件	163 人	0.02%

・陽性者の内訳は、アスリート等が35人、大会関係者が128人であり、アスリート等の検査数に占める陽性の割合は0.01%、大会関係者が0.03%となっている。

(3) 大会関係者の行動管理

- ・大会関係者等には、プレイブックに記載されているルールについて入国前から周知・徹底を行った。
- ・組織委員会は、各国選手団等の関係者に対して、プレイブックの遵守について、大会中も、改めて要請した。
- ・違反行為については、組織委員会において、厳正な対処を行った。アクレディテーションカードのはく奪が8名、一時的な効力停止が8名、嚴重注意を16名に行うなど、罰則を適用した（8月7日時点）。

(4) 訪日大会関係者における陽性者の療養状況等

・都内における訪日選手、大会関係者等の陽性者に占める入院者数は累計で3人、宿泊療養施設についても、原則組織委員会が確保した施設を活用するなど、都の医療・療養体制への負担を抑制した。

< 8月10日（火） 9時時点 >

	都内医療機関		都内宿泊療養施設	
	入院中	退院済	入所中	退所済
アスリート等・大会関係者計	0 人	3 人	35 人	90 人

※都内医療機関は大会指定病院への入院

都内宿泊療養施設は、大会用宿泊施設を関係者の削減、集約により、組織委員会が300室を準備。余剰分は都民用としても活用。

・陽性者は、基本的に各居室で待機することとなっており、確実な隔離を行う一方で、外国における隔離生活への不安を軽減するため、I O C が派遣した医師による母国語による傾聴、療養の必要性、退所の見通しなどのカウンセリング等を実施し、精神面でのサポートも行った。

○ 総括

- ・ 組織委員会感染症対策センター、保健衛生拠点、福祉保健局と緊密な連携を図るため、リエゾン職員を配置して、定時、随時の情報共有体制を構築し、選手等の陽性者の発生状況や入院・宿泊療養の状況などのモニタリングを行い、地域の医療、療養体制への影響を把握し、課題等への対応を行った。
- ・ プレイブックに記載されているルールについて、選手、大会関係者に周知徹底、違反事例に関しては、組織委員会において、厳重な処分・対処が行われた。

○ パラリンピックに向けて

- ・ パラアスリート等の特性を踏まえた対応について、組織委員会と連携し、オリンピック時の知見と課題を踏まえ、入国時や大会時など各行程ごとの注意事項を見直し、組織委員会が改めてCLO（コロナリエゾンオフィサー）等に対して注意喚起を行っていく。

シティキャスト

○ 大会期間中の活動状況

- ・無観客開催により観客案内の活動が難しくなったことを受け、シティキャストのご意見を伺ったところ、大きく分けて「現場で活動したい」、「応援メッセージを届けたい」、「オンラインで活動したい」などの意見をいただいた。
- ・これまでシティキャストには、主にラストマイルや主要駅における観客案内の役割を担っていただく予定であったが、参加者の意見も踏まえ、「大会の応援」、「大会情報の提供」、「東京・地域の魅力発信」、「安全・安心な大会のサポート」等の役割について可能な方に協力をお願いすることとし、下記の活動を展開した。
- ・これらの活動は、7月15日以降、詳細が決まりしだい順次シティキャストへ案内し、参加者の募集を行った。
- ・オリンピック期間中に活動へ参加した方の人数はのべ6,000名<東京スポーツスクエア（TSS）800名、羽田空港1,100名、東京都メディアセンター（TMC）500名、聖火台周辺1,600名、その他2,000名>
- ・現場での活動に加え、オンラインを活用した活動（大会の応援メッセージの発信等）も展開。東京スポーツスクエアでは、タブレット端末や遠隔操作のロボットを活用したリモートによる来場者案内も実施した。

活動内容	活動場所	活動日
来場者案内、大会情報の提供	東京スポーツスクエア（屋内）	7/19～※
公開収録 （東京・地域の魅力発信／シティキャストインタビュー）	東京スポーツスクエア（屋内）	7/19～8/8
選手等のお迎え、案内	羽田空港（屋内）	7/18～23
選手等のお見送り、声掛け	羽田空港（屋内）	8/1～11
メディア関係者の案内	東京都メディアセンター（屋内）	7/23～8/8
	浜離宮恩賜庭園（屋外）	7/21,22
来場者への声掛け （感染症・暑さへの注意喚起）等	聖火台周辺等（屋外）	7/24～※
来場者案内、声掛け等	都庁（大会関連展示周辺）（屋内）	7/30～※
「みんなの東京2020応援チャンネル」 収録・配信会場サポート	日比谷野外音楽堂（屋外）	7/23～25,8/1,7,8
	都庁（屋内）	7/31
来場者案内、会場運営サポート等	パリンピックギャラリー銀座（屋内）	7/30～※
大会への応援メッセージの発信	（オンライン）	7/23～※
東京・地域の魅力の発信	（オンライン）	7/23～※

※…オリンピック閉会後も活動中

○ 安全・安心な活動環境を提供するための取組

- ・感染症対策として、自宅等に唾液検査キットを送付し、活動前に検査を受けていただく取組を実施。また、希望者に都のワクチン接種センターにおいて接種を受けていただいた。
- ・活動にあたっては、感染予防マニュアルに基づき、活動前の検温と体調確認、マスクの配布、手指消毒の徹底（携帯用消毒液の配布）、活動時の距離の確保等の対策を徹底した。
- ・暑さ対策としては、冷たい飲料水や、保冷剤付きネッククーラー、塩分補給剤等の配布に加え、活動前のミーティングにおける注意喚起（人と離れた日陰でマスクを外し、こまめに水分補給を行うこと）を行った。
- ・屋外の活動場所では、連続する活動時間を最大30分（聖火台周辺）とし、希望者にかぶるタイプの傘を貸与するなどの取組を実施した。

○ 活動の様子

＜東京都メディアセンター＞



＜パ・ラリンピッックギャリー銀座＞



＜日比谷野外音楽堂＞



＜聖火台周辺＞



＜東京スポーツスクエア(公開収録)＞



＜羽田空港(お見送り)＞



○ 総 括

- ・無観客開催の決定後、急ぎ活動を立ち上げ、参加者を募集したにも関わらず、活動当日の出席率は9割を超え、シティキャストには高い意欲をもって活動いただけた。
- ・選手のお見送りの活動を空港で見た海外の大会関係者が、SNSに評価のコメントを掲載するなど、大会期間中、ボランティアの心遣いやおもてなしの心に多くの選手・大会関係者が感謝のメッセージを発信し、また、そのことが様々なメディアで報じられた。
- ・活動参加者へのアンケートは回収・集計中であるが、現時点では回答者の8割から活動に満足したとの回答をいただいた。個々の意見としては「オリンピックに関わることができ満足した」、「短い時間だが貴重な体験ができた」、「機会があればまた活動したい」等の声をいただいた。
- ・今回実施した活動は、できる限り多くの方に参加いただけるよう、基本的にパラリンピックへの移行期間やパラリンピック期間中も実施するとともに、活動内容や日程、参加可能な人数を拡充し、参加機会の拡大を図っていく。
- ・パラリンピックに向けては、観客数についての検討状況を踏まえつつ、ラストマイル等における観客案内の活動について、できる限り多くの方に参加いただけるよう、シティキャストの希望を丁寧に伺いながら活動日時や場所を調整していく。

施設管理

○ 経過・トピック

【都が管理する競技会場等】

競技会場	実施競技
夢の島公園アーチェリー場	アーチェリー
海の森水上競技場	カヌー（スプリント）、ボート
カヌー・スラロームセンター	カヌー（スラローム）
大井ホッケー競技場	ホッケー
有明アリーナ	バレーボール（バレーボール）
東京アクアティクスセンター	水泳（競泳、飛込、アーティスティックスイミング）
有明テニスの森	テニス
東京体育館	卓球
東京辰巳国際水泳場	水泳（水球）
東京スタジアム	サッカー、近代五種、ラグビー
武蔵野の森総合スポーツプラザ	バドミントン、近代五種
選手村（都が宿泊棟等を借用）	

【施設管理班の主な役割】

- ・ 競技会場のうち都が所有する11施設（以下、「会場」という）について、良好な競技環境を維持するため、不具合や損傷等に対し、組織委員会や施設管理者等と連携しながら、迅速に修繕等の対応を行う。
- ・ 選手村内の宿泊棟などについて、不具合や損傷があった場合、組織委員会及び特定建築者と修繕・復旧の調整等の対応を行う。
- ・ その他、当局が改修を行った東京スポーツスクエアに職員を配置し、施設面での不具合対応等に備える。



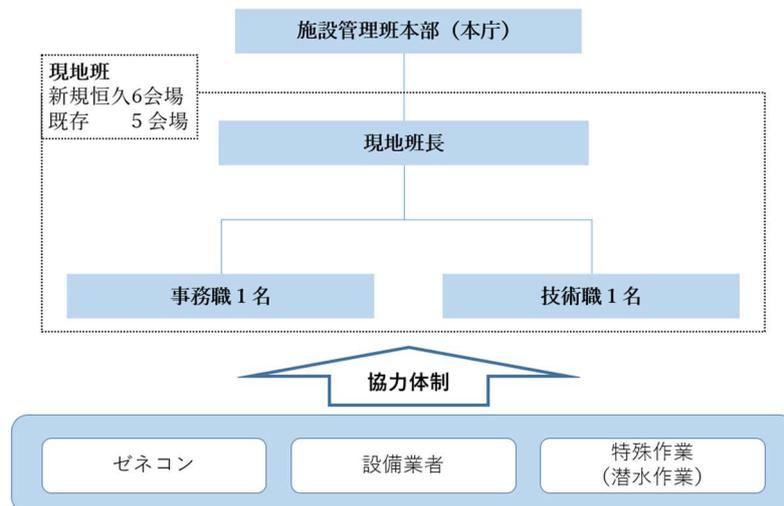
（有明アリーナ）



（東京アクアティクスセンター）

【班の構成】

- ・大会施設部 9 6 名とスポーツ推進部 2 6 名、計画推進部 1 名の当局職員に加え、財務局、都市整備局、港湾局から 4 0 名の技術系職員の応援を得て、計 163 名の職員で構成
- ・本庁で各施設の統括を担う「本部」、各会場に対応に当たる「現地班」、緊急時に本庁から各会場に応援に向かう「機動班」をそれぞれ配置。さらに、緊急時の対応のため、施設建設に携わった事業者の協力体制を構築した。



【班の活動】

- ・各会場で競技が実施される全日程について、競技開始の 2 時間前から現地班を配置し、施設の巡回点検や不具合発生時の対応を行った。全競技日程を通じ、延べ 532 人を配置した。
- ・選手村内に 2 交代で毎日 6 名の職員を配置し、組織委員会・特定建築者と協力して、施設の巡回点検や不具合対応を行うとともに、レガシー部分に係る損傷等の維持補修や原状回復について協議・調整を行った。

【トピック (台風への対応)】

- ・関東地方への接近が予想された台風 8 号及び 1 0 号について、施設管理班内に「特別対応本部」を設置して対応にあたった。
- ・組織委員会や指定管理者等と連携して、事前に雨水侵入対策や飛散防止対策などの被害防止策を講じた。
- ・さらに、必要に応じて関係事業者に緊急対応体制の確保を要請した。
- ・こうした取組もあり、大会運営に影響を与えるような被害はなかった。

《具体的事例》

- ・排水桝の点検・清掃
- ・土嚢、止水板の設置
- ・排水ポンプの設置
- ・屋外備品や仮設物等の飛散防止
- ・テント幕の撤去
- ・スタートポンツーンの養生 (海の森水上競技場)

《被害発生時の早期復旧に向けた対応》

- ・夜間や早朝からの職員待機
- ・潜水士の待機（海の森水上競技場）



(屋外エレベーター扉の防水措置)



(仮設物の飛散防止措置)



(止水板の設置)



(テント幕の撤去)

○ 総 括

各会場、選手村において、組織委員会や特定建築者等の関係者との協力、連携体制を構築し、施設を適切に維持することができた。

【競技会場】

オリンピック期間を通じ、各会場を良好な状態で維持することができ、大会運営に影響を与えるような施設面の不具合なく、大会を終了

【選手村】

オリンピック期間を通じ、宿泊棟などを良好な状態で維持することができ、選手の滞在に影響を与えるような施設面の不具合なく、大会を終了

【パラリンピックに向けて】

《 競技会場 》

- ・パラリンピック期間においても、引き続きオリンピック時と同様の体制で会場内に職員を配置し、万全の体制で大会に臨む。

《 選手村 》

- ・パラリンピック期間においても、引き続きオリンピック時と同様の体制で村内に職員を配置し、組織委員会や特定建築者と協力しながら、宿泊棟などを良好に維持していく。

大会輸送

○ 経過・トピック

【経過】

- 7/1 輸送センター開設
- 7/7 選手村プレ開村
OF 輸送サービス開始（～8/11）
- 7/8 輸送センター本格稼働（24 時間体制）
- 7/9 メディア輸送サービス開始（～8/11）
- 7/13 選手村開村
選手/NOC 輸送サービス開始（～8/11）
入国輸送サービス本格化（～7/22）
- 7/19 交通マネジメント（TDM、ロードプライシング、TSM）開始
（～8/9）
- 7/23 開会式（式典輸送に伴う交通規制及び式典出席者の輸送を実施）
- 8/8 閉会式（式典輸送に伴う交通規制及び式典出席者の輸送を実施）
- 8/9 出国輸送サービス本格化（～8/11）
- 8/11 選手村閉村

【交通量・平均断面交通量（※速報値）】

		高速道路 (概ね外環内側)	一般道路 (概ね外環内側)
オリ大会期間 (2021/07/19～ 2021/08/09)	平日	12.4%減	3.0%減
	休日	32.2%減	6.9%減

※2018年比の断面交通量（国交省道路局 HP [トラカンデータ] より）
[2018年比は、2018年の同月同曜日との平均値を使用]

渋滞状況（高速道路） 朝ピーク



【人流（TDMの重点取組地区：16地区）（※速報値）】

		通勤時間帯 (7:00～8:00)	日中時間帯 (14:00～15:00)
オリ大会期間 (2021/07/19～ 2021/08/08)	平日	2.7%減	7.9%減
	休日	1.1%減	8.9%減

※大会前の7月上旬比の滞在人口

[7月上旬比は、平日：7/5～7/9、休日：7/3・4 7/10・11の平均値を使用]
(※ドコモ・インサイトマーケティングの「モバイル空間統計」データを利用し東京都で作成)

【輸送サービス】

選手や関係者等の入国から、開閉会式、選手村等と競技会場等との往復、出国までの輸送を実施

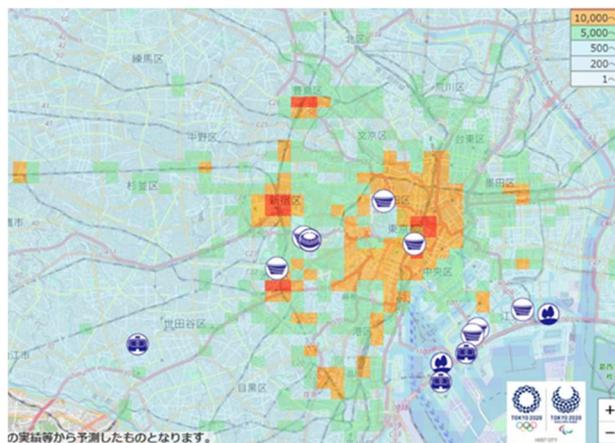
【各局等の応援状況】

入国対応、開閉会式、選手村T Aモール、各競技会場、フリースポーツオペレーションセンター、バスオペレーションセンター、オリンピックファミリーホテルなどの輸送運営に、都市整備局、教育庁、交通局オリンピック・パラリンピック準備局の職員（約90人）による人的支援を行い、各現場でコアな業務に従事。円滑できめ細かな輸送サービスを実現した。

【混雑予報】

都内の明日の混雑予報をHPにて公開。主要繁華街や競技会場についてはピクトグラムで混雑予報が確認できるようにしている。加えて、メールマガジンやSNSにて交通規制の情報や感染拡大防止の取組へのご協力をお願いを毎日配信した。

（都心部混雑予報例）



【凡例】
500m×500mあたりの人口
 25,000人～
 10,000人～
 5,000人～
 0人～

（都内競技会場周辺の混雑予報）

日付	2021年8月10日（火）					
	時刻	6～9	9～12	12～15	15～18	18～21
渋谷						
新宿						
銀座						
池袋						
六本木						
新橋						
上野						
吉祥寺						

日付	2021年8月10日（火）					
	時刻	6～9	9～12	12～15	15～18	18～21
オリンピックスタジアム						
東京体育館						
国立代々木競技場						
日本武道館						
東京国際フォーラム						
国技館						
馬事公苑						
武蔵野の森総合スポーツプラザ						
東京スタジアム						
武蔵野の森公園						
有明アリーナ						
有明体育競技場						
有明アーバンスポーツパーク						
有明テニスの森						
台場海浜公園						
潮風公園						
青海アーバンスポーツパーク						
大井スポーツ競技場						
海の森テニスコート						
海の森水上競技場						
カヌー・スラロームセンター						
海の森公園アーチェリー場						
東京アクアティクスセンター						
東京臨海副都心水泳場						

○ 総括

- 交通マネジメント（TDM、料金施策、TSM）などの適切な運用により、大幅に交通量が減少し、選手や大会関係者の円滑できめ細かい輸送サービスを実現した。
- 現場に入った応援職員の連携と課題解決の努力により、ニーズに応じた質の高い輸送サービスを実現した。

競技関連

○ 経過・トピック

1 競技結果概要

JOCと連携し、各競技の正式な結果を入手し、報告した。また、路上競技・都立練習会場の風景や、選手村の様子なども適宜追加してレポートした。

- ・ 入賞者数：135（金：27、銀：14、銅：17、4位～8位：77）
- ・ 国別メダルランキング（金メダル数）では第3位

順位	国名	金	銀	銅	合計
1	アメリカ合衆国	39	41	33	113
2	中華人民共和国	38	32	18	88
3	日本	27	14	17	58
4	英国	22	21	22	65
5	ROC	20	28	23	71
6	オーストラリア	17	7	22	46
7	オランダ	10	12	14	36
8	フランス	10	12	11	33
9	ドイツ	10	11	16	37
10	イタリア	10	10	20	40

2 競技時間、会場の変更等

台風や暑さへの対応について、MOCからの報告だけでなく、組織委員会の各会場チームに適宜実態を確認し、正確な情報をタイムリーに報告した。

(1) 台風の影響による主な変更（セッションスケジュールの調整）

- ・ アーチェリー（7/27） 27日午前のセッションを28-29日に分散実施
- ・ ボート（7/26, 27） 26日と27日のセッションをキャンセル、それぞれ24-25日、28-30日に分散実施
- ・ サーフィン（7/28） 28日のセッションを27日に前倒しして実施（※強風により、良い波が来たため）

(2) 暑さを考慮した主な変更（セッションスケジュールの調整、会場変更）

- ・ テニス（7/30-8/1） 12:00-20:00 ⇒ 15:00-23:00
- ・ ゴルフ（8/6） 7:30-16:00 ⇒ 7:30-14:00
- ・ 女子サッカー（8/6） 11:00-13:00 ⇒ 21:00-23:00
オリンピックスタジアム ⇒ 横浜国際総合競技場
- ・ 女子マラソン（8/7） 7:00スタート ⇒ 6:00スタート

3 その他（お台場海浜公園の水質対策）

- ・ 2020大会のお台場海浜公園の水質対策として、組織委員会が三重の水中スクリーンの設置や、競技水域の水温を下げることでできる水流発生装置を導入
- ・ その結果、トライアスロン、マラソンスイミングともに、IFの基準を達成する水質を確保し、大会は問題なく終了

○ 総 括

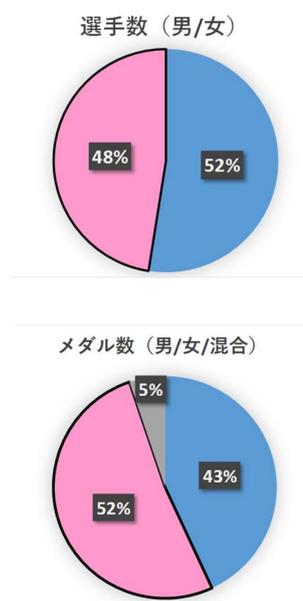
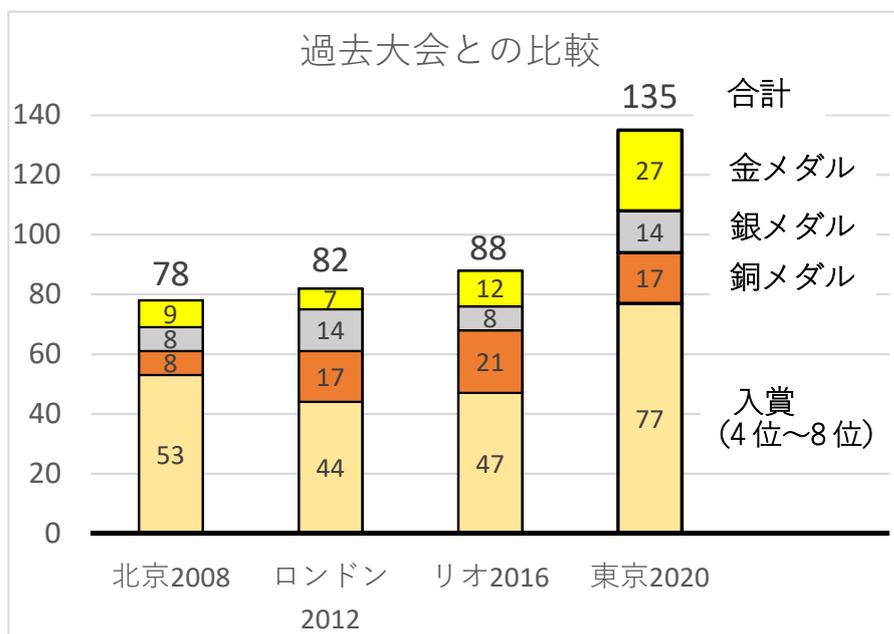
1 競技結果概要

(1) 過去最高の成績（メダル合計、金メダル合計共に史上最多）

- ・ 政府の競技力向上予算(*)による各NFの取組、JOCエリートアカデミー等の強化施策による成果 (*)2016年81億→2020年101億→2021年103億)
- ・ 女性アスリートの活躍（女性アスリートがより多くのメダルを獲得）

(2) その他のトピック

- ・ ソフトボール・野球は全勝で金メダル（ソフトは連覇、野球は37年ぶり）
- ・ 女子初の卓球 メダル3個（混合：金、団体：銀、シングルス：銅）
- ・ 史上最年少13歳の金メダル（スケートボード女子ストリート 西矢椛）
- ・ 女子初の競泳 金メダル2個（競泳女子400m・200m個人トローレ 大橋悠衣）
- ・ 女子初のボクシング 金メダル（フェザー級54-57kg 入江聖奈）



2 運営

- ・ 競技会場内の運営に関しては各会場で大きなトラブルは見られなかった。
- ・ 開会当初は、選手やT.Oの輸送にかかるバスの運行に一部混乱があったが、大会開始後一週間程度でスムーズな輸送が実現した。
- ・ 台風8号、10号の接近や、熱中症嚴重警戒が発出される猛暑など、気候の状況に対応し、組織委員会がIOC及びIFと協議してセッションスケジュールの変更や会場変更等を実施したが、意思決定から関係者への伝達までは非常に迅速であった。（競技・渉外課からは、必要に応じて、スポーツ局や会場運営局の総括及び各会場チームに連絡し、情報の収集・確認を行うとともに、IOC、IF、組織委員会が決定した内容を関係部署等へ速やかに情報提供した。）
- ・ 競技日程の変更については、選手への連絡や大会運営の進捗状況などを踏まえた適切なタイミングでの判断が必要である。
- ・ 競技運営を含め、大会運営全般について、IOCから“Well organized”（円滑な運営）と、高い評価を得ている旨、MOCアップデート会議で報告があった。

気運醸成

○ 特設WEBサイト「みんなの東京2020応援チャンネル」開設（7/21～） 集客型のライブサイト・PVの見直しに伴うデジタル対応

- 1 オンライン配信「みんな de 応援 オリ×パラ！みどころ配信局」
オリンピック・パラリンピックに共通する競技（テニス、柔道、バスケ）をテーマに3回ライブで実施

※8月19日時点累計視聴数

25.6万回（大会終了まで視聴可能）



- 2 オンライン配信「インターナショナルデー パフォーマンス」
 - ・ラオス・メキシコ等大使館推薦の団体が民族舞踊や歌をライブで披露
 - ・ZOOMで、各国から100人以上がライブ視聴し、チャットで声援
- 3 都内・被災地の団体のパフォーマンス動画
 - ・伝統芸能、歌、舞踊等、ご参加の59団体分を掲載済。今後8団体分を追加予定



インターナショナルデー



都内団体のパフォーマンス（日比谷野外音楽堂）

○ パラリンピックギャラリー銀座（7/20～）

- ・大会期間中、「競技・選手を知る」「パラリンピックを体感する」というコンセプトの下、様々な企画を実施

（主なコンテンツ）

- 競技体験（ボッチャ、VRレーサー等）
- IPC初の公式ゲーム体験
- アスリート写真展示



ギャラリー外観

- ・入場者数をコントロールしつつ、実際に来場しなくてもWEBサイトから会場内の様子やコンテンツが見られる「360度バーチャルギャラリー」も実施
- ・会場からミニトークショーなどをライブ配信（期間中4回程度）

○ シティドレッシング・大規模展示物

2019年3月に策定・公表した「東京2020大会のシティドレッシング・大規模展示物基本計画」に基づき、大会の延期に伴って掲出時期等を見直した上で、フラッグやバナー等による装飾や、大規模展示物の設置を実施

1 シティドレッシング

- ・令和3年4月以降、都内の道路、空港、駅等をフラッグやバナー等で順次装飾

2 大規模展示物

- ・令和2年1月、お台場海浜公園に巨大なオリンピックシンボルを設置。点検・メンテナンスのため、同年8月に一時工場に移動し、12月1日に再設置
- ・オリンピック100日前の令和3年4月14日に高尾山山頂のオリンピックシンボルと都庁舎のマスコット像とをオンラインで結び、メディア向けに同時お披露目。以降、その他のシンボル、マスコット像等を都内各所に順次設置



● 総括

1 シティドレッシング

【街路灯フラッグ 約2,500枚、駅45駅、空港（羽田・成田）】

- ・街路灯フラッグや駅のバナーなど、街中の装飾を通じて、大会の雰囲気を高めた。また、空港の国際線ターミナルを装飾し、海外からの選手や大会関係者等を歓迎した。

2 大規模展示物

【シンボル6か所、マスコット像13か所、ワードマーク1か所、園芸装飾1か所】

- ・お台場のオリンピックシンボルは、大会の象徴として国内外の多くのメディアに取り上げられ、大会や東京の魅力を広く発信した。
- ・高尾山のオリンピックシンボルなど、都内各所のシンボル、マスコット像等を通じて、設置場所を訪れた方に大会を身近に感じてもらい、気運を盛り上げた。

○ 有明聖火台の点火式

世界初の水素聖火台のPRのため世界に発信するとともに、大会の記録を残すため、次の通り、有明聖火台の点火式を実施

- 1 日時 令和3年7月23日（金）24時45分から24時50分まで
- 2 場所 東京臨海部 夢の大橋 有明側
- 3 撮影者 都庁及び組織委員会のオフィシャル、
OBS（ムービー）、IOC（スチール）
- 4 点火者 高橋 礼華（たかはし あやか）さん
リオ2016年大会 女子バドミントンダブルス金メダル



● 総括

- ・有明聖火台の記事掲載
- ・都及び組織委員会のホームページに、点火式の映像・写真を掲載
- ・オリンピック期間中、絶え間なく、聖火を継続点灯
- ・オリンピック期間中は、感染症対策のため、有明聖火台の周辺を鉄柵で囲い、案内誘導員を配置して、密を回避。シティキャストの方々にもご支援いただいた。
- ・パラリンピックの開会式後も、パラリンピアンを点火者とした点火式を実施予定

東京スポーツスクエア・メインプレスセンターシティインフォメーション

○ 東京スポーツスクエア (TSS)

1 建物総括

(1) 目的

東京を訪れるメディアや都民に対し、大会の情報や開催都市東京の魅力を発信

(2) 実施状況 ※8月8日時点

- ・実施期間：7月19日（月）～
- ・施設利用者数合計 約2万8千名
（大会PR展示・TMC・産業イベント(TTAJC)、公式ライセンス商品ショップ）

2 大会PR展示

- ・展示や動画上映を通して、開催都市や被災地自治体の情報を発信

3 Tokyo Tokyo All Japan Collection（産業労働局）

- ・都内の商工業、観光産業、農林水産業、食の魅力を発信
- ・全国自治体と連携し、日本各地のPRを実施

4 東京都メディアセンター（政策企画局）

- ・オンラインサービスを充実するとともに、国内外メディアの取材スペースとして施設サービスを提供
- ・オンラインブリーフィングの上映による開催都市・東京の情報、東京の将来像や魅力等を発信
- ・各局と連携し、復興、伝統文化、水道技術等の都の取組を発信

5 シティキャストの活動

- ・大会への応援メッセージを掲載
- ・東京や地域の魅力発信の公開収録を実施
- ・大会PR展示や東京メディアセンターを案内

● 総括

- ・シティキャストと連携して、オンラインを活用し、東京の魅力を効果的に発信した。

1 大会PR展示

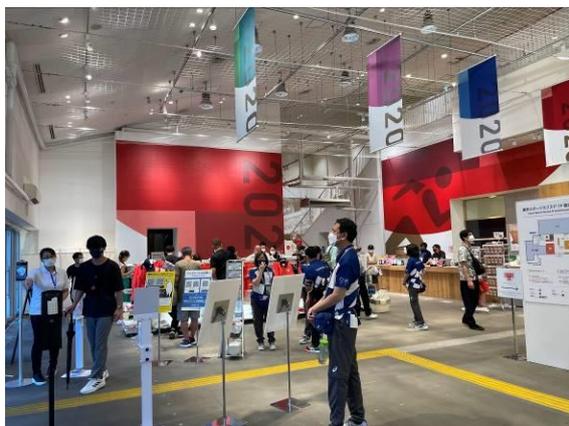
- ・多くの方に大会関連のパネルや動画、シティキャストからの応援メッセージを見ていただくとともに、大会マスコット像での撮影を行っていただくなど、東京大会の魅力を発信できた。

2 Tokyo Tokyo All Japan Collection (産業労働局)

- ・全国自治体・団体・中小企業など、多くの出展者の参画により、東京や日本、全国各地の多彩な魅力を発信することができた。

3 東京都メディアセンター (政策企画局)

- ・国内外のメディアに作業スペースや取材活動拠点として利用いただくとともに、オンラインブリーフィングの放映・文化展示等を通じて、開催都市・東京の取組を発信することができた。
- ・大会期間を通じて、国内外のメディアに活用いただくとともに、施設内での生放送・配信などメディアの発信拠点として活用された。
- ・JNTO、国税庁等と連携して日本文化の発信を行った。



エントランス (大会 PR 展示)



シティキャストによる東京の魅力発信収録



Tokyo Tokyo All Japan Collection



Tokyo Tokyo All Japan Collection



東京都メディアセンター



東京都メディアセンターにおける
メディアによる生配信

○ MPC シティインフォメーション

1 シティインフォメーションブースでの情報発信

(1) 実施内容

①東京の魅力に関する情報提供

- ・パンフレットや TOKYOTOKYO グッズ等の配布

②東京都メディアセンターのオンラインサービスの案内



シティインフォメーション

(2) 実施状況

- ・実施期間：7月1日（木）～8月8日（日）
- ・来場者数：約5,800人
- ・問合せ件数：約3,900件

2 公認メディアを対象とした取材機会の提供

(1) 目的

入国14日以内の公認メディアを対象に取材機会を提供し、東京の魅力を広く発信

(2) 実施状況

貸切バスでの移動により、一般の方と交わらないよう、感染症対策を徹底した上で実施

- ・実施期間：7月19日（月）～8月7日（土）
- ・ツアー実施回数：37回
- ・参加者数（のべ）：476人
- ・参加メディア数：125社

(3) 訪問先

- ・東京都視察船による選手村や競技会場周辺の案内
- ・浜離宮庭園 等

(4) 感染防止対策

- ・営業時間前後に訪問するなど一般の方との動線を分離
- ・体温計測及び各訪問先での手指消毒の実施、ソーシャルディスタンス確保を徹底

(5) 参加メディアからの感想等

- ・景観等の撮影に加えて、レポーターを交えて大会関連の番組収録のための機会としてツアーを活用している例も多く見られた。
- ・外出制限中で取材機会が得られたことに感謝するとの声や感染症対策がしっかり取れており、安心して取材ができたとの声が多数寄せられた。

事前キャンプ・ホストタウン

○ 経過・トピック

・事前キャンプ等実施状況

＜事前キャンプ＞3区4市2民間で実施

	自治体	国名	種目	人数	期間
1	杉並区	ウズベキスタン	ボクシング	47人	7/5～7/22
2	大田区	ブラジル	ボクシング	91人	7/12～7/22
			ハンドボール		7/13～8/8
			ビーチバレーボール		7/13～7/23
			テコンドー	11人	7/15～7/19
3	北区	ハンガリー	フェンシング	30人	7/18～7/22
4	府中市	オーストリア	卓球	13人	7/10～7/19
5	多摩市	アイスランド	陸上競技	3人	7/22～7/31
			競泳	5人	7/18～7/27
6	八王子市	アメリカ合衆国	スポーツクライミング	10人	7/22～8/3
7	日野市	ウクライナ	空手	9人	7/22～8/3
8	立飛HD (立川市)	パンアメリカンス ポーツ機構	競泳、柔道	69人	7/14～7/28
			ビーチバレー	3人	7/17～7/19
			陸上競技	42人	7/20～7/25
9	早稲田大学 (新宿区)	難民選手団	陸上競技、競泳等	27人	7/14～7/25

<施設の貸出（ハイパフォーマンスセンター）> 8区で実施

※選手村や組織委員会手配ホテル等に滞在しながら自治体の施設を利用

	自治体	国名	種目	場所	利用期間
1	世田谷区	アメリカ	陸上等	区立大蔵運動場	7/4～8/16
2	港区	英国		港区立小中一貫教育校 お台場学園	7/10～8/11
3	板橋区	イタリア	バレーボール	区立小豆沢体育館	7/18～8/3
4	北区	ハンガリー	柔道	滝野川体育館	7/18～7/22
5	大田区	ブラジル	レスリング	大森スポーツセンター	7/20～7/29
6	中央区	ブラジル	バレーボールほか	中央区立豊海小学校	7/21～8/8
7	葛飾区	スロベニア	スポーツクライミング	東金町運動場スポーツクライミングセンター	7/27
		ドイツ			
8	杉並区	イタリア	カヌー	永福体育館	7/27～7/31

<大会期間中の選手等とのオンライン交流> 2区2市で実施

	自治体	国名	実施日・参加人数等
1	杉並区	イタリア (カヌー)	7月29日 選手4名
		ウズベキスタン (ボクシング)	7月31日 選手2名
2	葛飾区	ドイツ (スポーツクライミング)	7月27日 選手2名
		スロベニア (スポーツクライミング)	7月27日 選手2名
3	立川市	ベラルーシ (新体操)	7月27日 宮城県白石市・柴田町・仙台大学と合同 による選手団の歓迎式
4	多摩市	アイスランド共和国 (競泳、陸上競技)	7月27日 市長と選手団とのオンライン交流会

<大会出場後の選手等との対面での交流> 2区で実施

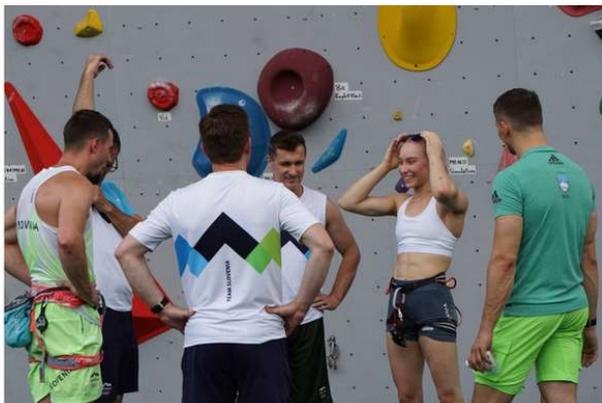
	自治体	国名	実施日・参加人数等
1	北区	ハンガリー (フェンシング)	7月31日 選手4名 (個人・金メダル)、小中学生30名
			8月1日 選手団12名、北区ハンガリー応援団員等37名
2	世田谷区	アメリカ (トライアスロン)	8月3日 選手1名、参加住民人数30名

・事前キャンプ等受入れの様子

<杉並区 ウズベキスタン>



<葛飾区 スロベニア ドイツ>



<北区 ハンガリー>



<府中市 オーストリア>



<日野市 ウクライナ>



<事前キャンプ、事後交流後の相手国からの感想等 ※報道より

- ・キャンプ終了後に選手等から「よく準備と手配がされていて素晴らしかった」「選手村よりも、この場所にととまりたい」などの評価を受けた。(立川市ーパンナム)
- ・「短い時間ではあったが、一緒に過ごせて楽しかった。」(北区ーハンガリー)
- ・「受け入れてくれてありがとう。良いキャンプ場を整えてくれて非常に感謝している。」(杉並区ーウズベキスタン)

<スクリーニング検査>

- ・実施期間：7月1日～
- ・対象自治体：15区市
- ・対象者：事前キャンプ等で自治体を訪問した選手、自治体職員、通訳等
- ・検査会社：株式会社江東微生物研究所
- ・検査方法：唾液による抗原定量検査
- ・検査結果

(8月8日時点)

	検査数 (A)	陽性疑い件数 ^{※1}	陽性者数 (B) ^{※2}	B/A
選手団・自治体職員等 計	9,566 件	14 件	1 人 ^{※3}	0.01%

※1 スクリーニング検査による検査結果

※2 医療機関による確定診断後の陽性者数

※3 陽性者概要 (7/12 立川市、内閣官房プレス公表済)

- ・事前キャンプの実施主体：立飛ホールディングス
- ・業務内容：選手等宿泊ホテルスタッフ (日本人)
- ・状況：選手受入前の検査で判明。選手等との接触なし

○ 総 括

- ・ 事前キャンプ等受入れ自治体においては、新型コロナウイルスの感染症対策を確実に実施するため、移動・宿泊・食事など場面ごとの対策を踏まえたマニュアルを作成するとともに、相手国 CLO との入国手続きに関する事前調整や陽性判定時の対応を地域の医療機関との事前調整など、苦慮しながらも調整を行い、万全な体制で各国選手団を受け入れた。
- ・ 受入期間中も、事前キャンプ等受入れ自治体は、空港から自治体への送迎、毎日のスクリーニング検査対応、場面ごとの感染症対策、選手団からの各種要望対応等にも適切に対応した。
- ・ 万全な感染症対策により、選手団からは陽性者を発生させることもなく、バブルを保った安全・安心な事前キャンプ等を実施することができた。
- ・ 一部の自治体では、オンラインなど創意工夫により、感染防止対策をとりつつ、住民との交流も行うことができた。
- ・ 事前キャンプに参加した国の選手からも金メダリストが誕生した。
(北区：ハンガリー・フェンシング（男子サーブル個人）)
- ・ 都においても、入国手続きや受入マニュアル等について、内閣官房や受入自治体と緊密な連携、情報共有等を行うとともに、検査委託契約や事前調整を行うことで、自治体の事前キャンプ等の実施をサポートした。

復興オリンピック・パラリンピック

○ 経過・トピック

<大会開催前>

- ・3月25日に、福島県Jヴィレッジから聖火リレーがスタートし、6月には岩手県・宮城県を巡った。
開会式では、3県の子どもたちがスタジアム内で聖火を運んだ。
聖火リレートーチの素材には復興仮設住宅の廃材アルミも活用。
- ・6月6日、有明アリーナに、復興のシンボルとなる樹木（岩手・宮城・福島・熊本各県の県木）を植樹
- ・7月13日、オリンピックスタジアム横の聖徳記念絵画館前に、復興仮設住宅の廃材アルミを原材料とし、被災地の子どもたちからのメッセージを載せた「東京2020復興のモニュメント」を設置。
8月1日には、バッハ会長も現地を訪問
※大会終了後は各県へ移設し、レガシーとして活用予定

<大会期間中>

- ・福島県のあづま球場（無観客）で野球・ソフトボール競技を、宮城県の宮城スタジアム（有観客）でサッカー競技をそれぞれ開催
- ・選手に贈られるビクトリーブーケに被災県産の花を活用
- ・選手村ビレッジプラザの建築素材として、被災地産の木材を活用。
また、選手村食堂では被災地産の食材も提供。
8月5日からは食材の安全性をPRするポスターも掲示
- ・MPC、東京スポーツスクエア（TSS）に復興情報発信ブースやパネルを設置。
MPCブースには、期間中に798名のメディアが来場。
7月26日には、TMCで復興オリンピック・パラリンピックに関するブリーフィングを実施

○ 総括

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、被災地でのライブサイトや観戦招待等、予定していた取組の一部が実施できなくなったものの、情報発信や被災地産品の活用等、可能な限りの取組を実施

多言語による情報配信

○ 経過・トピック

1 概要

- ・組織委員会と連携し、総務省の技術協力を得て、大会期間中「おもてなしガイドアプリ」を活用して、会場にいる日本語が分からない方や音が聞こえにくい方に向けてアナウンス等を多言語で文字配信
(日・英・中(繁・簡)・韓・西・仏の7言語)
- ・海外観客の受入見送り、無観客が決定したが、一部の有観客及び会場にいる選手、大会関係者向けに実施

2 多言語による情報配信に関する周知活動

2021年4月27日 組織委員会プレスリリース

2021年7月15日 東京都プレス発表

開閉会式直前に、シェフデミッション、オリンピックファミリーホテル、選手村のサービスセンターフロントデスク、各住居棟のロビーにてオリンピックファミリーや選手向けに周知(紹介パネル掲出、アプリQRコード配布等)

3 実施内容(文字配信内容)

①開会式・閉会式における式典内容の解説 @オリンピックスタジアム

式典の進行にあわせて出演者や演目の背景について、専用端末に事前登録した日本語文を自動翻訳して文字配信

②MCアナウンスの内容 @38 競技会場

日本語のMCアナウンス音声から日本語文を生成したものを自動翻訳して文字配信

③競技の進行状況配信 @夢の島アーチェリー場、武蔵野の森総合スポーツプラザ、馬事公苑、東京体育館

会場内アナウンスだけでは情報量が少ない競技(アーチェリー、バドミントン、馬術、卓球の計51セッション)の進行状況を学生(※)が専用端末から日本語文字入力したものを自動翻訳して文字配信

※組織委員会の大学連携事業に参加した学生(延べ96名)

④緊急時の案内 @38 競技会場

地震等緊急時の定型文案内を多言語で文字配信★

※緊急事態が発生しなかったため大会期間中の実績なし

⑤その他 @静岡県会場、宮城県会場

有観客会場のみ、次の場面で定型文案内を多言語で文字配信

・観客スクリーニングエリア周辺の案内★

・競技会場内の案内(観戦の注意事項等)★

★東京都がR1、2に整備した定型文案内を一部使用

○ 総括

1 結果等

◆定型文案内は事前に翻訳しているため正確な文字配信ができるが、自動翻訳を用いた文字配信は、文字入力に基づく場合は比較的翻訳精度が高かったが、音声入力に基づく場合は、翻訳精度が低い傾向があった。

◆利用者(日本人)の反応は以下のとおり。外国人等からも今後意見集約予定。

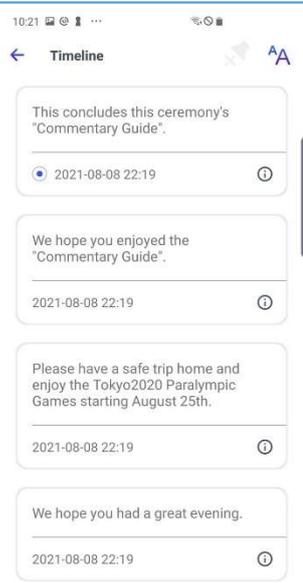
・開閉会式では、会場で演目の説明が少なく、何が行われているのか分からないことがあったが、アプリの文字配信により進行にあわせて出演者や演目内容を知ることができた。

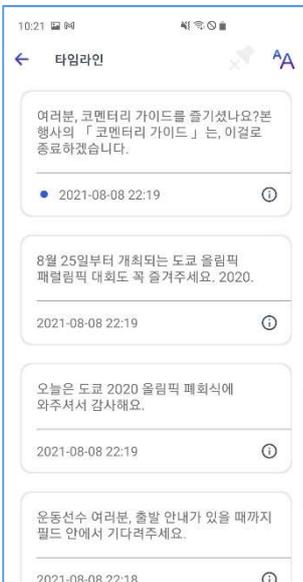
・競技の進行状況配信では、選手の紹介や試合展開、競技ルールの解説などの情報配信があり、より競技を楽しむことができた。

(詳細説明)

・専用端末を使用した文字入力に基づく自動翻訳(①、③)は、日本語文が比較的正確なので翻訳精度が高く、問題無く文字配信ができた。

①閉会式の文字配信内容(自動翻訳)

 <p>本セレモニーの「コメンタリーガイド」は、これにて終了とさせていただきます。</p> <p>みなさま、「コメンタリーガイド」をお楽しみいただけましたでしょうか。</p> <p>8月25日より開催される東京2020パラリンピック大会も是非お楽しみください。</p> <p>本日は東京2020オリンピック閉会式にお越しいただきありがとうございました。</p>	 <p>This concludes this ceremony's "Commentary Guide".</p> <p>We hope you enjoyed the "Commentary Guide".</p> <p>Please have a safe trip home and enjoy the Tokyo2020 Paralympic Games starting August 25th.</p> <p>We hope you had a great evening.</p>	 <p>各位，《評論指南》過得愉快嗎？本次儀式的《評書指南》到此結束。</p> <p>請一定要欣賞8月二十五日開始舉辦的東京二零二十殘奧會。</p> <p>感謝您今天來參加東京二零二十奧林匹克閉幕式。</p> <p>各位運動員，在有出發通知之前，請在場內等候。</p>	 <p>各位，《評論指南》過得愉快嗎？本次儀式的《評書指南》到此結束。</p> <p>請一定要欣賞8月二十五日開始舉辦的東京二零二十殘奧會。</p> <p>感謝您今天來參加東京二零二十奧林匹克閉幕式。</p> <p>各位運動員，在有出發通知之前，請在場內等候。</p>
日本語	英語	中国語(繁体)	中国語(简体)

 <p>여러분, 코멘터리 가이드를 즐기셨나요? 본 행사의 「코멘터리 가이드」는, 이걸로 종료하였습니다.</p> <p>8월 25일부터 개최되는 도쿄 올림픽 패럴림픽 대회도 꼭 즐겨주세요. 2020.</p> <p>오늘은 도쿄 2020 올림픽 폐회식에 와주셔서 감사해요.</p> <p>운동선수 여러분, 출발 안내가 있을 때까지 필드 안에서 기다려주세요.</p>	 <p>La "Guía de comentarios" de esta ceremonia termina con esto.</p> <p>Espero que todos hayan disfrutado de la Guía de comentarios.</p> <p>Por favor, también disfrute de los Juegos Paralímpicos de Tokio del veinticinco de agosto, dos mil veinte.</p> <p>Gracias por venir a la ceremonia de clausura de los Juegos Olímpicos de Tokio dos mil veinte.</p>	 <p>Mesdames et messieurs, avez-vous apprécié le "Commentary Guide"? Le "Commentary Guide" de la cérémonie se termine avec ceci.</p> <p>Profitez bien des Jeux Paralympiques de Tokyo qui auront lieu le vingt-cinq août, deux-mille-vingt.</p> <p>Merci d'être venu aujourd'hui pour la cérémonie de clôture de Jeux Olympiques de Tokyo, deux-mille-vingt.</p>	<p>・事前登録した日本語文を自動翻訳するため、各言語への翻訳精度が高い。</p> <p>・式典の進行に合わせて文字配信されるので、演目内容を確認しやすい。</p> <p>▼閉会式で大竹しのぶさんが登場したシーンの配信画面</p> <div data-bbox="1141 1892 1412 2072"><p>1人の女性が子どもたちに歌を教える姿は、大会のテーマでもある「次世代の継承」ともリンクし、次の世代にこの経験を受け継がれ、未来が明るくなるように願いを込めています。</p></div>
韓国語	スペイン語	フランス語	

③競技の進行状況文字配信内容（自動翻訳）

<p>演技終了です。 選手入場です。 スイスチーム選手の演技です。 演技開始です。 フェリックス選手はリオデジャネイロオリンピックにも出場しました。</p>	<p>The performance is over. Players enter. It is a performance of a Swiss team player. The performance is starting. Felix also participated in the 2016 Summer Olympics.</p>	<p>表演結束了。 是選手入场。 是瑞士队选手的表演。 开始表演。 费利克斯选手也参加了2016年夏季奥林匹克运动会。</p>	<p>表演结束了。 是选手入场。 是瑞士队选手的表演。 开始表演。 费利克斯选手也参加了2016年夏季奥林匹克运动会。</p>
日本語	英語	中国語（繁体）	中国語（簡体）
<p>연기 종료예요. 선수 입장이에요. 스위스 팀 선수의 연기예요. 연기 개시예요. 텐마크왕자 펠릭스 선수는 2016년 하계 올림픽에도 출전했어요.</p>	<p>Terminó la actuación. Los jugadores entran. Es la actuación del jugador del equipo suizo. Empieza la actuación. Felix también participó en los Juegos Olímpicos de Río de Janeiro.</p>	<p>La performance est terminée. C'est l'entrée des joueurs. C'est la performance des joueurs de l'équipe suisse. La performance commence. Felix a aussi participé au Jeux olympiques d'été de 2016.</p>	<p>・競技の進行にあわせて学生が日本語で文字入力しており、各言語への翻訳精度が高い。 ・選手の紹介や競技ルールの解説等も得られるので、競技をより楽しむことができる。</p> <p>▼馬術の配信画面 競技進行にあわせてルールを説明</p> <p>全ての障害物を落下させても設置箇所ごとの減点なので一箇所ごとに減点4点です。 2021-08-04 19:47 ⓘ</p> <p>反抗しても、飛び直すことは可能です。 2021-08-04 19:58 ⓘ</p> <p>馬が障害物前で飛ぶのを嫌がると反抗となり減点4点です。 2021-08-04 19:57 ⓘ</p>
韓国語	スペイン語	フランス語	



馬事公苑での競技進行状況配信の様子

- ・音声入力に基づく自動翻訳（②）は、音声認識により生成される日本語文の正確性に翻訳精度が左右された。
- ・MCアナウンスは、音声小さい場合や話し方のクセ（英語混じり等）、人名がある場合、正確な日本語文を生成できず翻訳精度が低かった。

②MCアナウンスの文字配信内容

福島あずま球場の日本語MCアナウンス(音声) (女子ソフトボール)

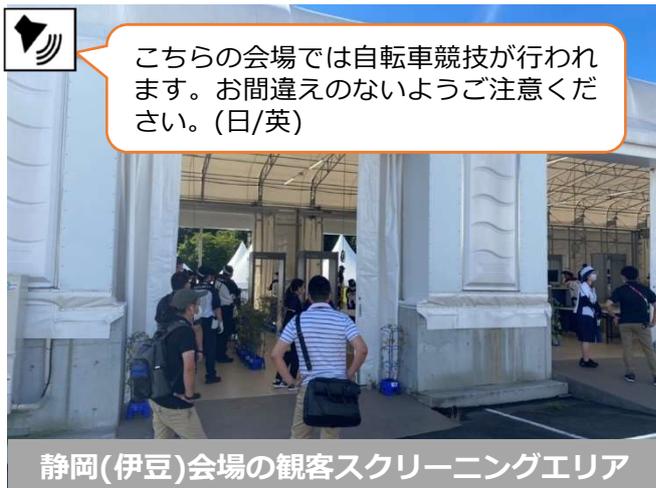
監督 レイン・ハロー、コーチ ネーサン・ジョーンズ、アンドルー・カークパトリック
この試合の審判員をご紹介します。
プレートアンパイア、日本 クサモト・ミツノリ、塁審、ファーストベース ニューゼaland ポルテオス・マーク、セカンドベース カナダ ガードロー・ジェネビエ、サードベース 中国 ユウ・ジーリン、副審、オランダ プリンス・マリアンナ、日本 ササジマ・アヤカ
ただ今より両国国歌の演奏を行います。ご協力いただける方はご起立ご脱帽のうえ、国旗にご注目ください。

MCアナウンスから音声認識により生成された日本語文

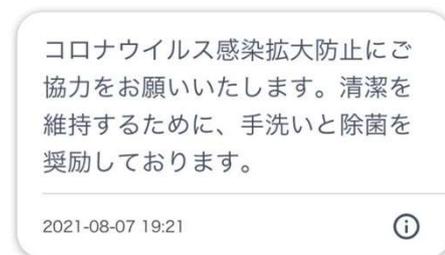
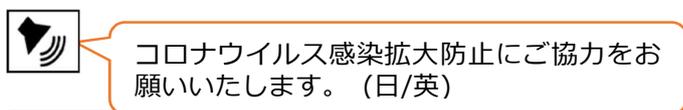
監督コーチ、この試合の審判員をご紹介します。
プレートアンパイア日本草本道のり累進ファーストベースニューゼalandセカンドベース体サードベース中国副審オランダベルギーただいまより両国国歌の演奏を行います。
ご協力いただける方はご起立ご脱帽の上くっきりご注目ください。

※人名は殆ど認識できなかったため、日本語文としても分かりにくい文章になった。

- ・定型文案内（⑤）は、事前に翻訳しているため正確な文字配信ができた。
 - ・観客スクリーニングエリア周辺の案内
 - ・競技会場内の案内（観戦の注意事項等）



アプリ画面(英、中(繁/簡)、韓、西、仏でも表示可)



入場には、飲食時を除きマスクの着用が条件となっております。
アプリ画面(英、中(繁/簡)、韓、西、仏でも表示可)

2 不具合対応等

<機材等の不具合>

- ・有明アリーナでは、配信機材の電源が切断されたため、途中からMCアナウンスの文字配信を停止した。(大会期間中は、競技進行の妨げになるため会場での復旧作業が出来ず配信を停止した。)
- ・一部の会場で、日本語マイクが英語マイクに入れ替わっており、初日のMCアナウンスの文字配信ができなかった。配信機材の設定を変更して対応済み。

<音声認識>

- ・音声認識ができない(日本語文の生成ができない)部分は、自動翻訳も正確にできなかった。特に選手名などの固有名詞を認識できない場合が多く、技術課題として総務省に報告済み。